



公立大学法人
神戸市外国語大学

神戸市外国語大学データ集

データで見る神戸外大

2018 年度



【目次】

0	概要	1
1	歴史	2
1-1	沿革	2
1-2	歴代学長	3
1-3	累計卒業生数	3
2	教育	4
2-1	学生数	4
2-2	入試実施状況	5
2-3	出身地域別入学者割合	6
2-4	減免制度・奨学金制度利用状況	7
2-5	就職状況	8
2-6	資格等取得状況	9
2-7	語学運用能力の成長	11
2-8	課外活動状況	13
3	研究	17
3-1	科学研究費助成事業	17
3-2	学術論文	20
3-3	研究支援事業	26
4	国際交流	27
4-1	留学状況	27
4-2	国際交流協定	31
5	地域貢献・地域連携	33
5-1	地域行政、団体などとの協力	33
5-2	市民講座・公開講座等	34
5-3	学生ボランティア活動	35
6	教職員	36
6-1	教員数	36
6-2	職員数	36
7	財務状況	37
8	図書館	38

※このデータ集は、原則として前年度（2017年度）時点での状況をまとめているが、一部2018年度の情報が記載されている項目もある

0 概要

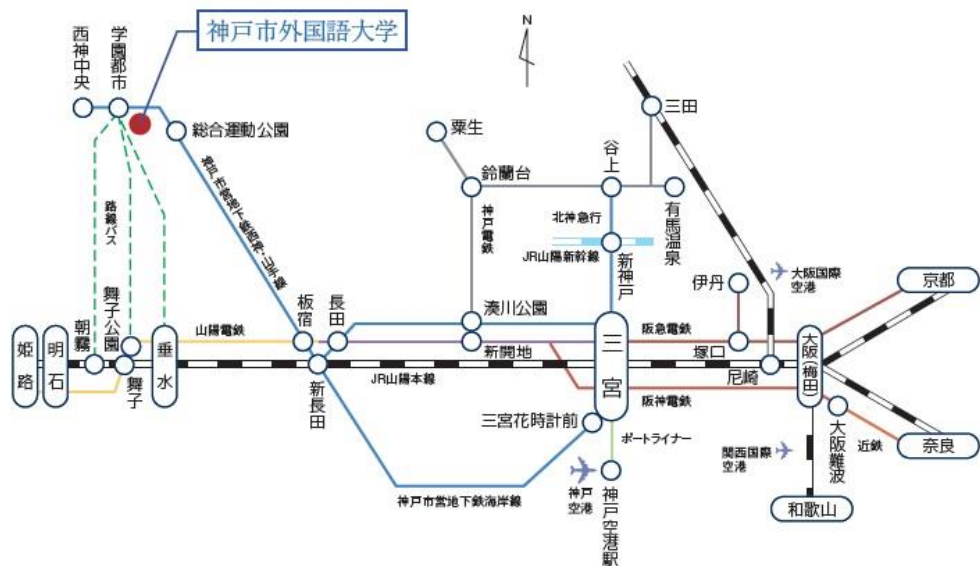
■大学名称 公立大学法人 神戸市外国語大学
英語名 : Kobe City University of Foreign Studies

■キャンパス面積 校地面積 : 84,980.4 m²
校舎面積 : 27,398.6 m²

■所在地 〒651-2187
兵庫県神戸市西区学園東町9丁目1

■設置学部 外国語学部 英米学科
(学部) ロシア学科
中国学科
イスパニア学科
国際関係学科
外国語学部第2部英米学科

(大学院) 外国語学研究科 英語学専攻
ロシア語学専攻
中国語学専攻
イスパニア語学専攻
国際関係学専攻
日本アジア言語文化専攻
英語教育学専攻
文化交流専攻



1 歴史

1-1 沿革

- 1946 神戸市立外事専門学校を設立
- 1949 神戸市外国語大学へ昇格（外国語学部 to 英米・ロシア・中国の3学科設置）
- 1950 短期大学部を併設
- 1951 外国学研究所設置
神戸市立外事専門学校を廃止
- 1953 大学に外国語学部第2部英米学科を新設
語学文学課程、法経商課程の2コースを設置
- 1954 教職課程を設置
- 1955 短期大学部を廃止
- 1962 学部にイスパニア学科を増設
- 1967 大学院外国語学研究科（修士課程）を設置
- 1986 神戸研究学園都市の現学舎に全学移転
- 1987 学部に国際関係学科を増設
第2部に司書課程を設置
- 1991 大学院外国語学研究科に国際関係学専攻及び日本語日本文化専攻を増設
（1999年 日本語日本文化専攻は日本アジア言語文化専攻に名称変更）
- 1994 カリキュラムを抜本的に改正（学部に総合文化コースを設置）
- 1996 大学院外国語学研究科に博士課程文化交流専攻を設置
- 1999 近隣5大学・1高専にて単位互換授業開講
- 2002 大学院外国語学研究科修士課程で神戸大学大学院文学研究科博士前期課程
（修士課程）と単位互換授業開講
- 2004 大学院外国語学研究科に英語教育学専攻を設置
- 2007 公立大学法人に移行
第1期中期計画スタート
- 2009 新カリキュラム開始
（学部に国際コミュニケーションコースを設置）
- 2013 第2期中期計画スタート
- 2015 修士課程を改編し、新たに「論文コース」と「課題研究コース」を設置（英語教育学専攻を除く）
- 2016 模擬国連世界大会を開催

1-2 歴代学長

神戸市立外事専門学校 校長	氏名	任期
	金田 近二	1946.5.3～1949.3.31

神戸市外国語大学 学長	氏名	任期
	金田 近二	1949.4.1～1954.6.6
	木方 庸助	1954.6.7～1960.6.6
	本田 実	1960.6.7～1966.6.6
	山本 守	1966.6.7～1970.6.6
学長職務代行	林 雪光	1970.6.7～1973.6.30
	林 雪光	1973.7.1～1979.6.30
	田島 博	1979.7.1～1983.6.30
	林 一郎	1983.7.1～1987.6.30
学長職務代行	行田 良雄	1987.7.1～1987.7.31
	行田 良雄	1987.8.1～1993.7.31
	須藤 淳	1993.8.1～1999.7.31
	東谷 穎人	1999.8.1～2005.7.31
	木村 榮一	2005.8.1～2011.3.31
	船山 仲他	2011.4.1～2017.3.31
	指 昭博	2017.4.1～

1-3 累計卒業生数

■学部（2018年3月31日現在）

学部・学科		卒業生数
外国語学部	英米学科	7,309
	ロシア学科	2,117
	中国学科	2,438
	イスパニア学科	1,896
	国際関係学科	2,207
外国語学部第2部 英米学科		5,525
合計		21,492

■大学院（2018年度3月31日現在）

課程・専攻		修了者数
修士課程	英語学専攻	274
	ロシア語学専攻	45
	中国語学専攻	43
	イスパニア語学専攻	64
	国際関係学専攻	168
	日本アジア言語文化専攻	153
	英語教育学専攻	94
	合計	841
博士課程	文化交流専攻	72※
合計		913

※博士課程（文化交流専攻）における72は、博士の学位授与数

2 教育

2-1 学生数

■学部

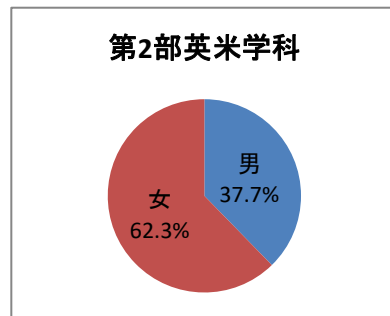
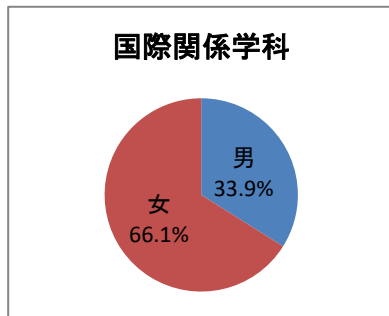
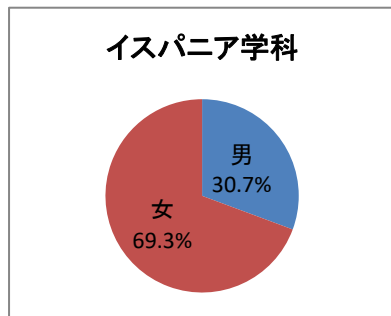
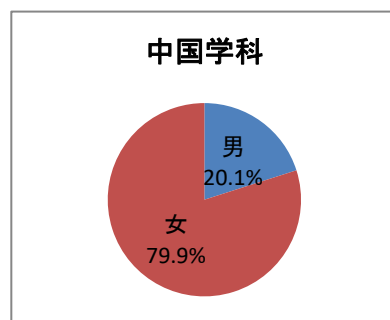
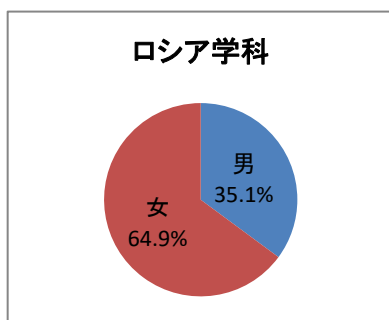
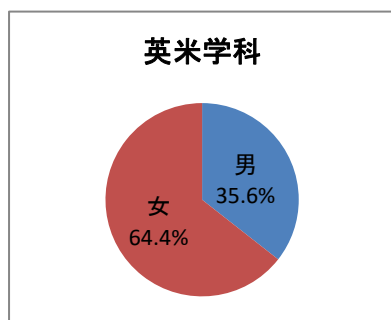
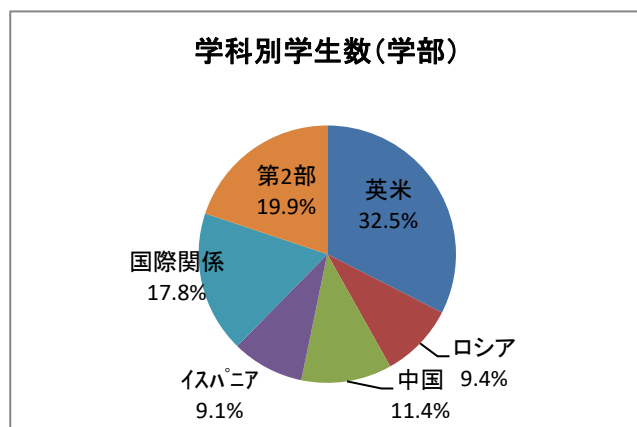
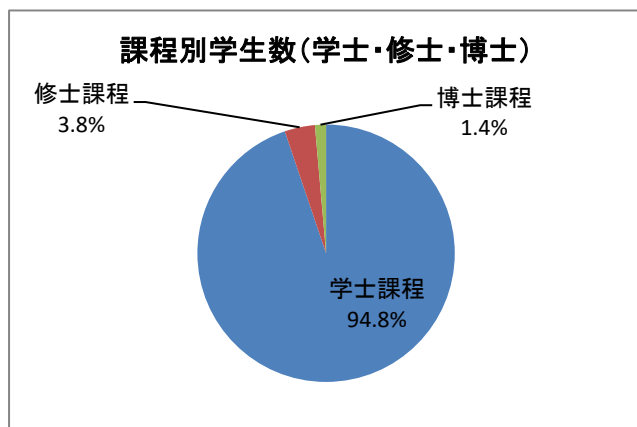
※2017年5月1日現在

学部・学科別	定員	1年		2年		3年		4年		合計							
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	合計					
外国語学部	英米学科	560	146	53	93	145	54	91	179	59	120	241	87	154	711	253	458
	ロシア学科	160	45	19	26	42	9	33	54	20	34	64	24	40	205	72	133
	中国学科	200	56	10	46	55	11	44	66	16	50	72	13	59	249	50	199
	イスパニア学科	160	43	11	32	47	16	31	56	21	35	53	13	40	199	61	138
	国際関係学科	320	90	32	58	84	19	65	97	34	63	118	47	71	389	132	257
学部計	1400	380	125	255	373	109	264	452	150	302	548	184	364	1753	568	1185	
外国語学部第2部英米学科	320	100	43	57	99	43	56	103	35	68	133	43	90	435	164	271	
合計	1720	480	168	312	472	152	320	555	185	370	681	227	454	2188	732	1456	

■大学院

※2017年5月1日現在

課程・専攻別	定員	1年		2年		3年		4年		合計						
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	合計				
修士課程	英語学専攻	20	4	1	3	10	3	7					14	4	10	
	ロシア語学専攻	10	0	0	0	1	1	0					1	1	0	
	中国語学専攻	10	3	2	1	2	0	2					5	2	3	
	イスパニア語学専攻	10	0	0	0	0	0	0					0	0	0	
	国際関係学専攻	20	1	0	1	7	3	4					8	3	5	
	日本アジア言語文化専攻	24	8	2	6	13	2	11					21	4	17	
	小計	94	16	5	11	33	9	24					49	14	35	
英語教育学専攻	20	11	3	8	10	5	5	12	3	9	6	1	5	39	12	27
合計	114	27	8	19	43	14	29	12	3	9	6	1	5	88	26	62
博士課程	文化交流専攻	36	8	4	4	4	2	2	20	5	15			32	11	21
合計	150	35	12	23	47	16	31	32	8	24	6	1	5	120	37	83

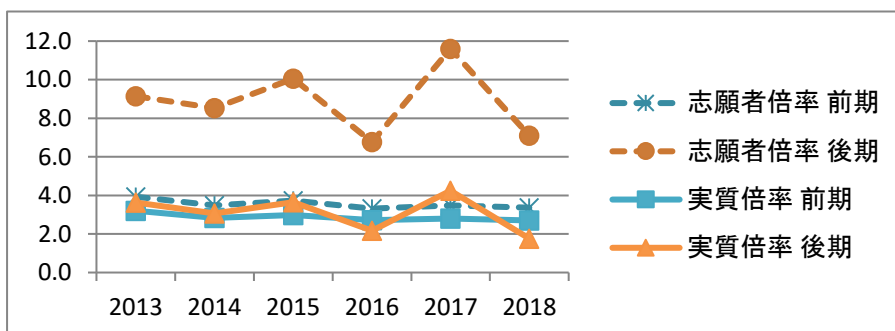


2-2 入試実施状況

■2018年度入学試験実施状況（2017年度実施）

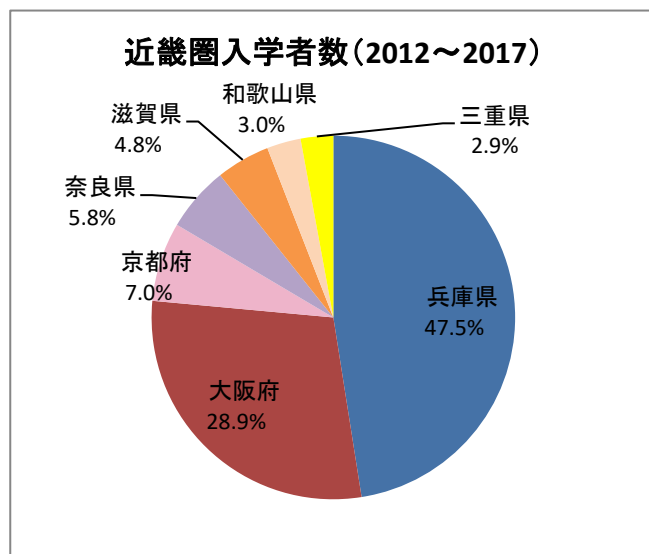
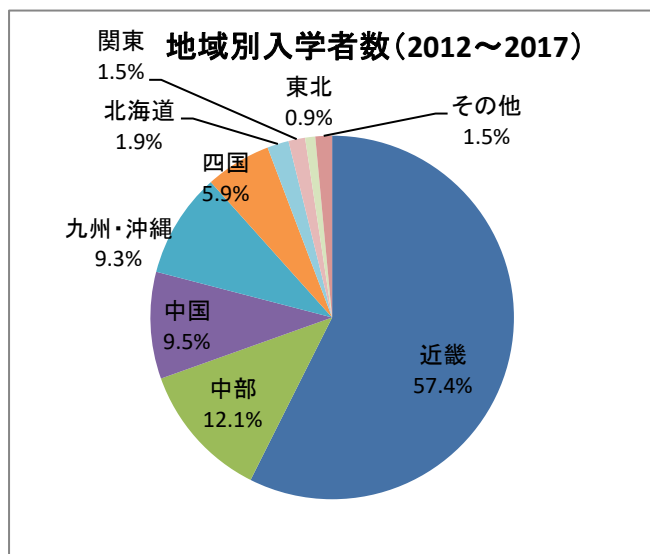
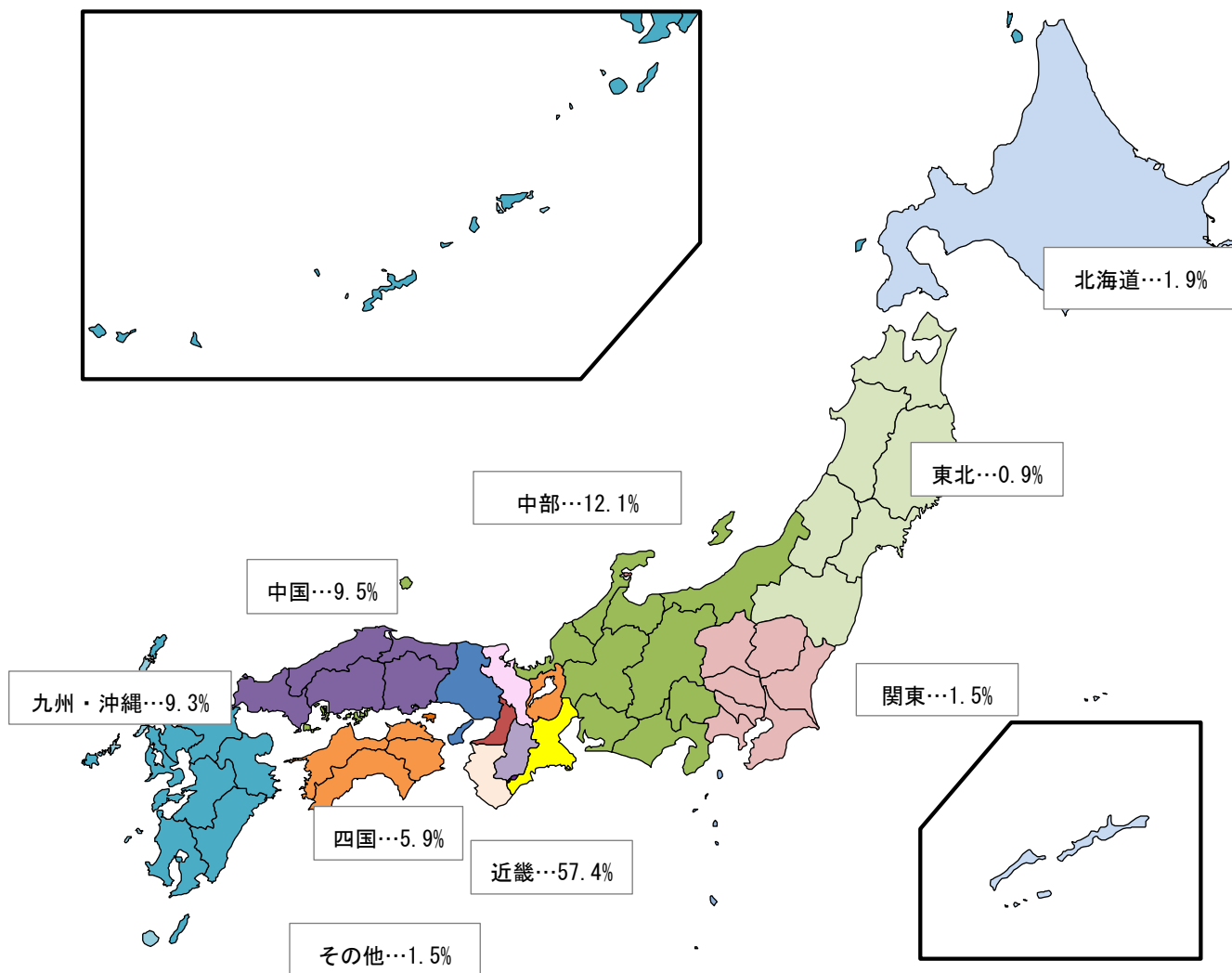
学部	学科別	入試区分		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願者倍率	競争率	昨年度競争率
		A	B	C	D	B/A	C/D				
				人	人	人	人	人	倍	倍	倍
学部	英米学科	推薦	市内枠	7	18	18	8	8	2.6	2.3	2.7
			全国枠	7	30	30	10	10	4.3	3.0	3.3
		一般選抜	前期	98	259	244	112	102	2.6	2.2	2.8
			後期	28	165	47	28	25	5.9	1.7	4.4
		特別選抜	帰国	若干名	4	4	3	3	-	-	-
			外国人	若干名	3	3	0	0	-	-	-
	ロシア学科	推薦	市内枠	2	3	3	2	2	1.5	1.5	2.0
			全国枠	2	4	4	3	3	2.0	1.3	1.0
		一般選抜	前期	28	107	105	32	29	3.8	3.3	2.7
			後期	8	65	24	11	6	8.1	2.2	5.0
		特別選抜	帰国	若干名	0	0	0	0	-	-	-
			外国人	若干名	0	0	0	0	-	-	-
	中国学科	推薦	市内枠	3	5	5	2	2	1.7	2.5	3.0
			全国枠	2	6	6	3	3	3.0	2.0	3.0
		一般選抜	前期	35	125	121	40	35	3.6	3.0	4.5
			後期	10	85	19	13	10	8.5	1.5	6.2
		特別選抜	帰国	若干名	0	0	0	0	-	-	-
			外国人	若干名	0	0	0	0	-	-	-
	イスパニア学科	推薦	市内枠	2	13	13	2	2	6.5	6.5	3.5
			全国枠	2	8	8	2	2	4.0	4.0	6.0
一般選抜		前期	28	76	72	32	30	2.7	2.3	2.1	
		後期	8	64	18	9	6	8.0	2.0	3.3	
特別選抜		帰国	若干名	1	1	1	0	-	-	-	
		外国人	若干名	0	0	0	0	-	-	-	
国際関係学科	推薦	市内枠	4	11	11	4	4	2.8	2.8	2.5	
		全国枠	4	21	21	8	8	5.3	2.6	2.8	
	一般選抜	前期	56	180	171	70	67	3.2	2.4	1.9	
		後期	16	123	27	16	12	7.7	1.7	2.5	
	特別選抜	帰国	若干名	2	2	2	1	-	-	-	
		外国人	若干名	2	2	1	1	-	-	-	
学部計	推薦	市内枠	18	50	50	18	18	2.8	2.8	2.7	
		全国枠	17	69	69	26	26	4.1	2.7	3.1	
	一般選抜	前期	245	747	713	286	263	3.0	2.5	2.7	
		後期	70	502	135	77	59	7.2	1.8	4.2	
	特別選抜	帰国	若干名	7	7	6	4	-	-	-	
		外国人	若干名	5	5	1	1	-	-	-	
第2部英米学科	推薦	市内枠	4	5	5	4	4	1.3	1.3	2.5	
		全国枠	-	-	-	-	-	-	-	-	
	一般選抜	前期	41	217	208	55	41	5.3	3.8	3.3	
		後期	15	102	34	19	15	6.8	1.8	4.3	
	特別選抜	社会人	20	60	56	20	20	3.0	2.8	1.9	
	合計	推薦	市内枠	22	55	55	22	22	2.5	2.5	2.7
全国枠			17	69	69	26	26	4.1	2.7	3.1	
一般選抜		前期	286	964	921	341	304	3.4	2.7	2.8	
		後期	85	604	169	96	74	7.1	1.8	4.2	
特別選抜		社会人	20	60	56	20	20	3.0	2.8	1.9	
		帰国	若干名	7	7	6	4	-	-	-	
外国人		若干名	5	5	1	1	-	-	-		
小計		推薦	430	39	124	124	48	48	3.2	2.6	2.9
		一般選抜	430	371	1568	1090	437	378	4.2	2.5	3.1
		特別選抜	430	20	72	68	27	25	3.6	2.5	2.3
	特別選抜	430	430	1764	1282	512	451	4.1	2.5	3.0	
大学院	修士課程		57	56	52	42	41	1.0	1.2	1.3	
	英語教育学専攻		10	10	9	9	9	1.0	1.0	1.0	
	博士課程		12	8	8	6	6	0.7	1.3	1.0	

■志願者倍率・実質倍率の推移（学部一般入試）



2-3 出身地域別入学者割合

■過去6年間（2012～2017年度）の出身高校所在地別入学者数（学部のみ）

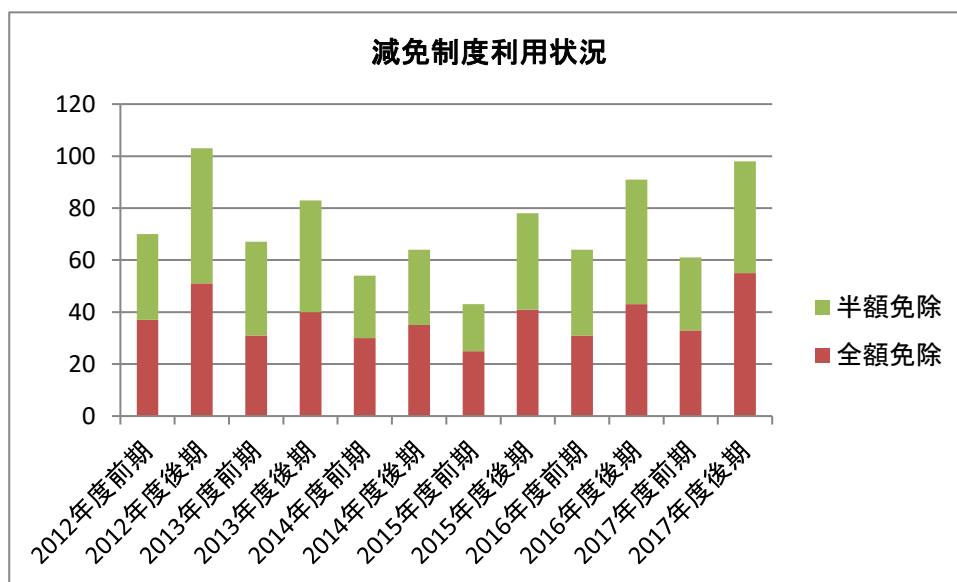


2-4 減免制度・奨学金制度利用状況

本学では、経済的事情を抱える学生に奨学金の受給についての相談や授業料減免制度など、勉学したい意欲をさまざまな面からサポートしています。

■授業料減免制度

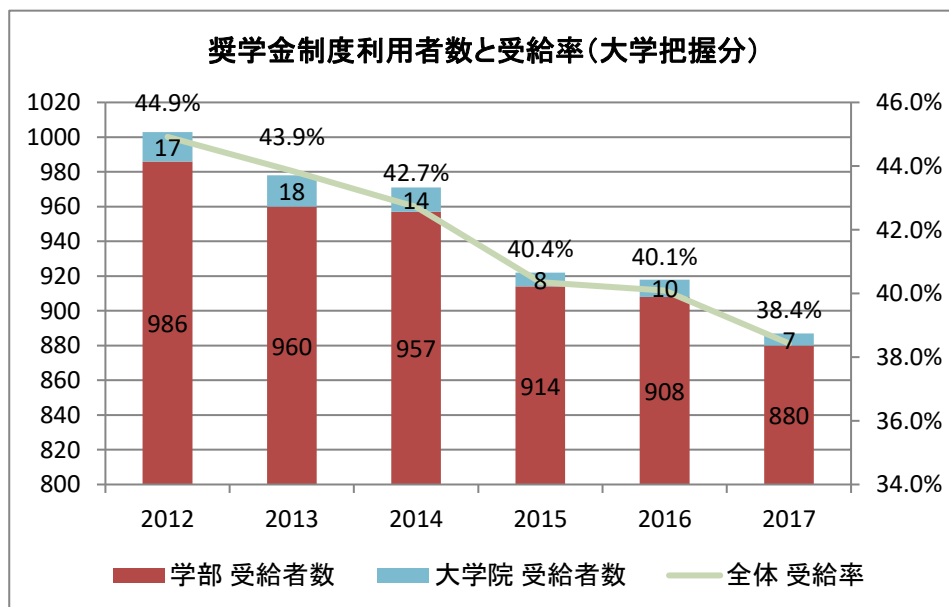
学生の経済状況等に応じて、大学が授業料の全額または半額を免除するもの。



■各種奨学金制度

奨学金には日本学生支援機構をはじめとする各種制度がある。

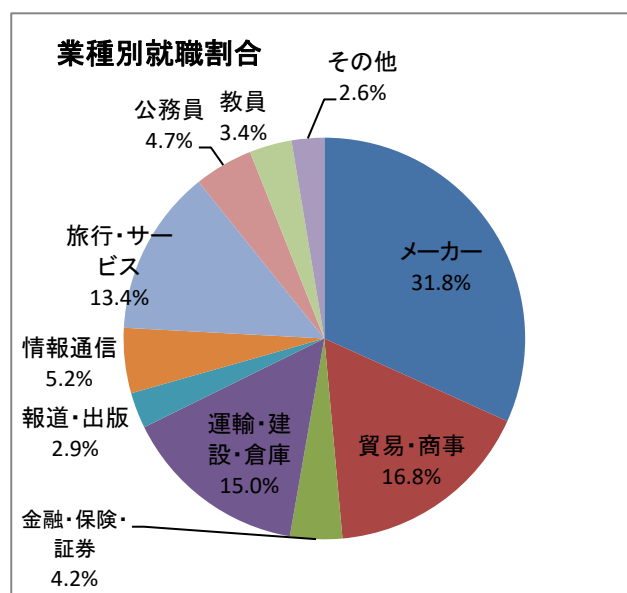
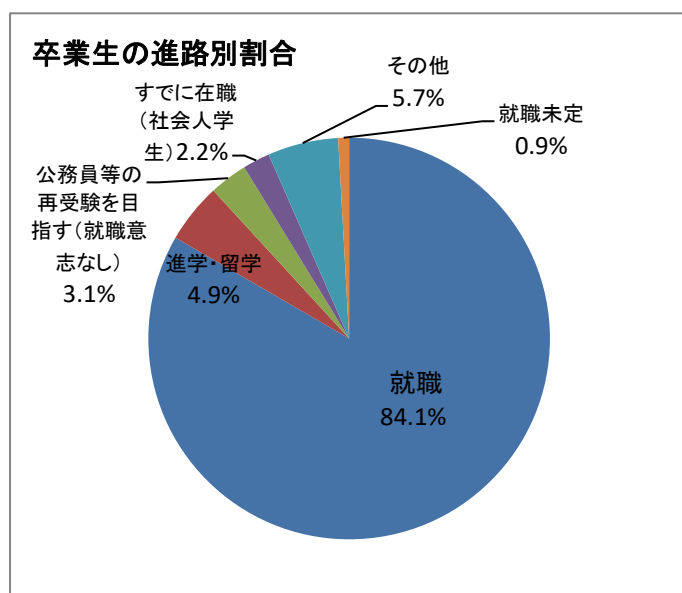
※これ以外にも、直接学生が手続きするもの（地方公共団体独自の奨学金制度など）もある。



2-5 就職状況

■学部卒業生の学科別進路状況（2017年度卒業生）

	卒業 者数	就職											進学・ 留学	公務員 等の再 受験を 目指す (就職 意志な し)	すで に在 職 (社会 人学 生)	その他	就職 未定
		メー カー	貿易 ・商 事	金融 ・保 険 ・証 券	運輸 ・建 設 ・倉 庫	報道 ・出 版	情報 ・通 信	旅行 ・サ ー ビ ス	公務 員	教員	その他	合計					
英米学科	164	39	24	7	20	4	9	17	8	4	2	134	9	7	0	12	2
ロシア学科	38	9	5	0	2	2	2	8	1	1	1	31	4	0	0	3	0
中国学科	57	24	9	3	10	0	1	2	1	0	1	51	1	3	0	1	1
イスパニア学科	33	9	8	1	2	0	1	6	0	0	2	29	2	0	0	1	1
国際関係学科	76	26	13	3	11	2	1	6	5	1	2	70	2	1	0	3	0
第2部英米学科	89	14	5	2	12	3	6	12	3	7	2	66	4	3	10	6	0
合計	457	121	64	16	57	11	20	51	18	13	10	381	22	14	10	26	4



■主な就職先（順不同）

- 【メーカー】サントリーホールディングス、アサヒ飲料、日本水産、UCC上島珈琲、キュービー、神戸製鋼所、山陽特殊製鋼、日新製鋼、日本製鋼、日本精工、住友大阪セメント、川崎重工業、ダイハツ、日立造船、クボタ、ダイキン工業、千代田精機、中西金属工業、ナブテスコ、関西ペイント、日本ペイントホールディングス、住友ゴム工業、東洋ゴム工業、大日本塗料、リンテック、P&Gジャパン、ジョンソン・エンド・ジョンソン、シスメックス、日本メドトロニック、テルモ、京セラ、日本電産、GSユアサコーポレーション、セイコーエプソン、TOA、古野電気、大王製紙、ユニチカ、トヨタ紡織
- 【貿易・商事】三井物産、双日、阪和興業、JFE商事、蝶理、帝人フロンティア、山善、伊藤忠プラスティックス、豊通マシナリー、合食、神栄、神明、花王カスタマーマーケティング、ニトリ、ファーストリテイリング、富士通エレクトロニクス
- 【金融・保険・証券】三井住友銀行、三菱UFJ銀行、りそな銀行、中国銀行、肥後銀行、山陰合同銀行、第一生命保険、三井住友海上火災保険、野村証券、大和証券、野村アセットマネジメント
- 【建設・運輸・倉庫】全日本空輸、日本航空、関西エアポート、Kスカイ、JALスカイ、JALスカイ大阪、Peach Aviation、西日本旅客鉄道、近畿日本鉄道、西日本鉄道 国際物流事業本部、三菱倉庫、住友倉庫、三井倉庫ホールディングス、日本通運、近鉄エクスプレス、阪急阪神エクスプレス、三井物産グローバルロジスティクス、郵船ロジスティクス
- 【報道・出版・情報・通信】共同通信社、茨城新聞社、日本出版販売、朝日印刷、ソフトバンク、日立システムズ、日立ソリューションズ、ワークスアプリケーションズ、マイナビ、ゼンリン
- 【旅行・サービス】JTB関西、近畿日本ツーリスト、クラブツーリズム、阪急交通社、JR東海ツアーズ、近鉄・都ホテルズ、星野リゾート・マネジメント、中国電力、北海道ガス、広島ガス、PwCコンサルティング、翻訳センター、四季、ユー・エス・ジェイ
- 【公務員・教職・その他】航空管制官、神戸税関、横浜税関、兵庫県庁、東京都庁、神戸市役所、岡山市役所、神戸市教育委員会、兵庫県教育委員会、福井県教育委員会、関西大学北陽高等学校・中学校、園田学園中学校・高等学校、中小企業基盤整備機構、大阪YMCA、全国農業協同組合連合会、創志学園、姫路市役所

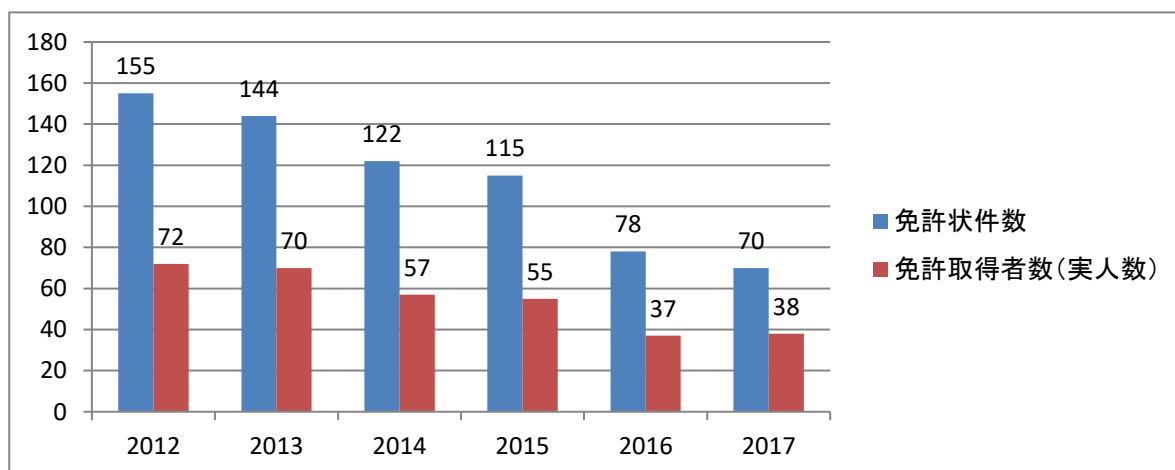
2-6 資格等取得状況

■教員免許

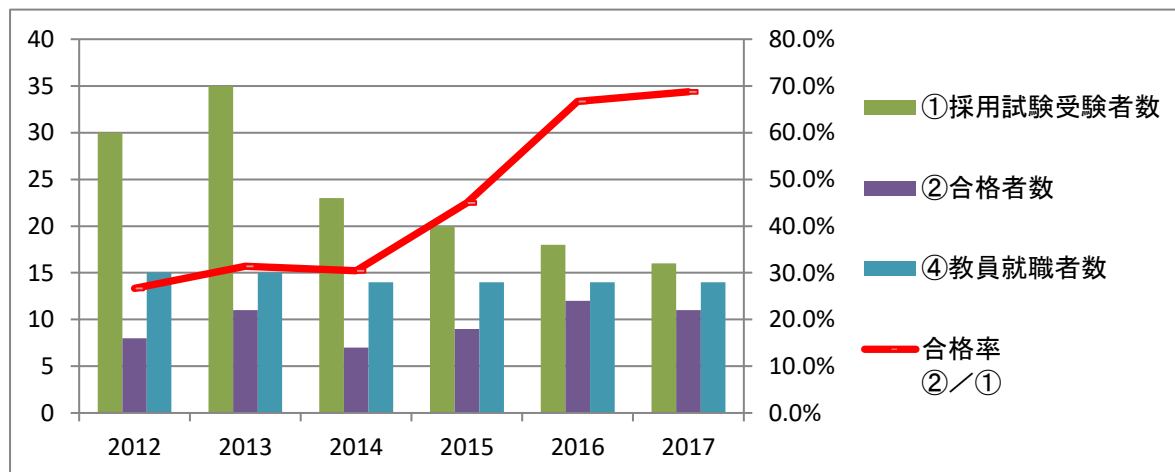
【教員免許状取得状況（科目等履修生除く：一括申請分のみ）】

年度		英語								ロシア語	中国語	イスパニア語	商業	合計	実人数	英語		
		英語	英米	口	中	イ	国関	2部	英語学							英語教育学	合計	
2012	中1種	59	21	3	5	5	9	16	1	4	6		70	72	中専免	0	4	4
	高1種	70	29	3	7	5	9	17	1	5	6	3	85		高専免	0	4	4
2013	中1種	64	25	2	3	2	13	19	2	2	1		69	70	中専免	1	7	8
	高1種	70	28	2	3	2	15	20	2	2	1	0	75		高専免	1	7	8
2014	中1種	46	22	0	4	5	9	6	0	4	4		54	57	中専免	1	8	9
	高1種	57	28	0	6	5	11	7	0	6	4	1	68		高専免	1	9	10
2015	中1種	44	19	3	2	3	9	8	2	2	4		52	55	中専免	0	0	0
	高1種	54	27	3	2	4	9	9	2	2	5	0	63		高専免	0	0	0
2016	中1種	27	4	1	1	5	6	10	1	1	5		34	37	中専免	0	2	2
	高1種	37	5	2	1	5	10	14	1	1	5	0	44		高専免	1	3	4
2017	中1種	28	15	0	1	0	2	10	0	1	0		29	38	中専免	1	3	4
	高1種	38	21	1	1	0	4	11	1	1	0	1	41		高専免	2	3	5

【教員免許（一種）取得件数と取得者数推移】



【教員採用試験合格率と教員就職者数】



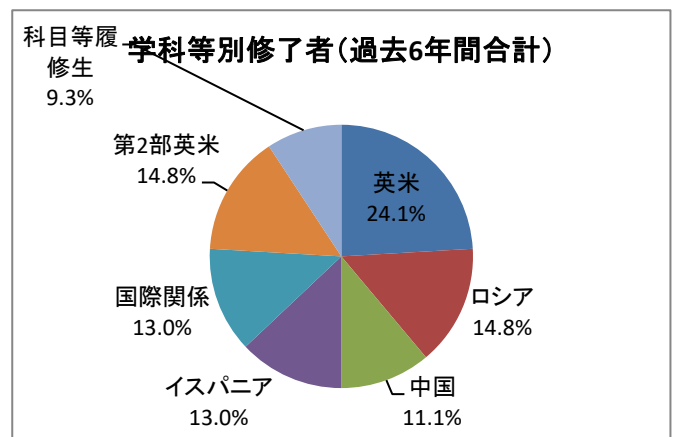
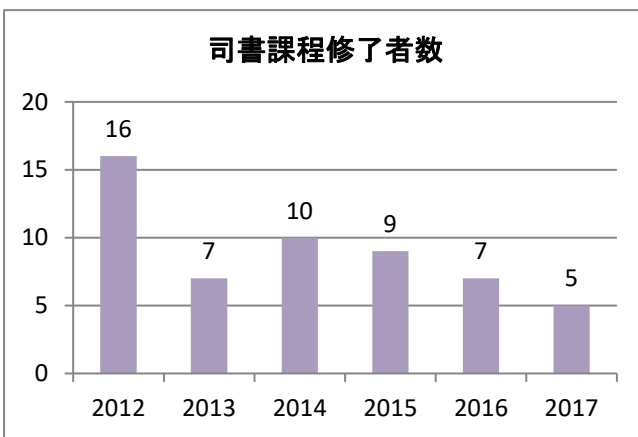
※受験者数、合格者数には私立を含む

※就職者数には、公立・私立常勤講師、時間講師を含む

■司書資格

【司書課程修了者数】

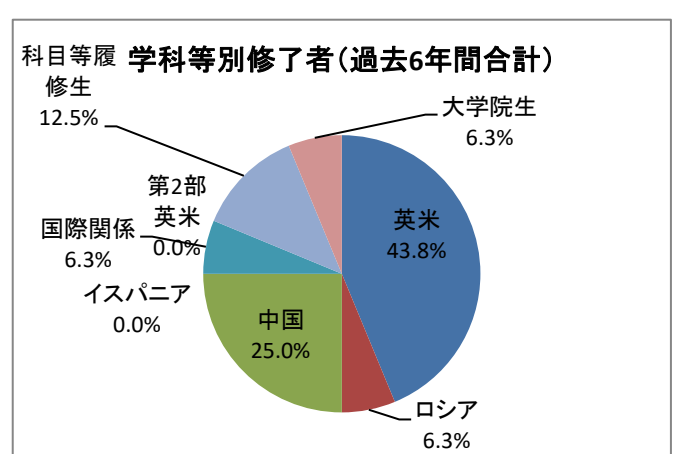
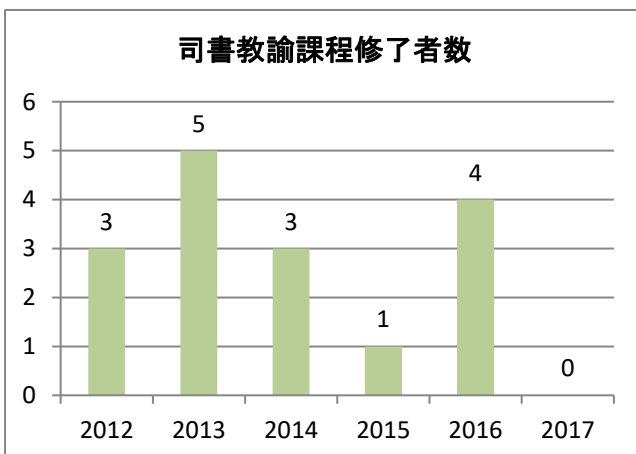
資格	学科	2012	2013	2014	2015	2016	2017
司書	英米	6	0	1	3	0	3
	ロシア	4	3	0	1	0	0
	中国	2	0	1	0	3	0
	イスパニア	2	1	3	1	0	0
	国際関係	0	0	3	1	2	1
	第2部英米	1	2	1	1	2	1
	科目等履修生	1	1	1	2	0	0
	合計		16	7	10	9	7



■学校図書館司書教諭資格

【司書教諭課程修了者数】

資格	学科	2012	2013	2014	2015	2016	2017
学校図書館 司書教諭	英米	2	2	0	1	2	0
	ロシア	0	0	0	0	1	0
	中国	0	2	1	0	1	0
	イスパニア	0	0	0	0	0	0
	国際関係	1	0	0	0	0	0
	第2部英米	0	0	0	0	0	0
	科目等履修生	0	1	1	0	0	0
	大学院生	0	0	1	0	0	0
	合計		3	5	3	1	4

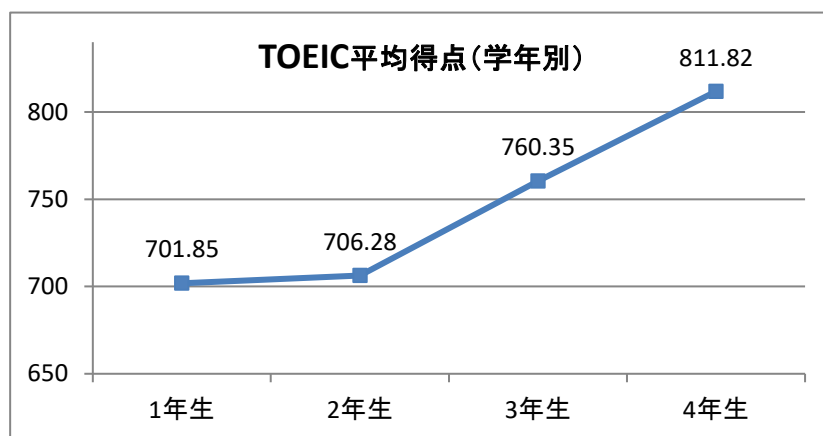
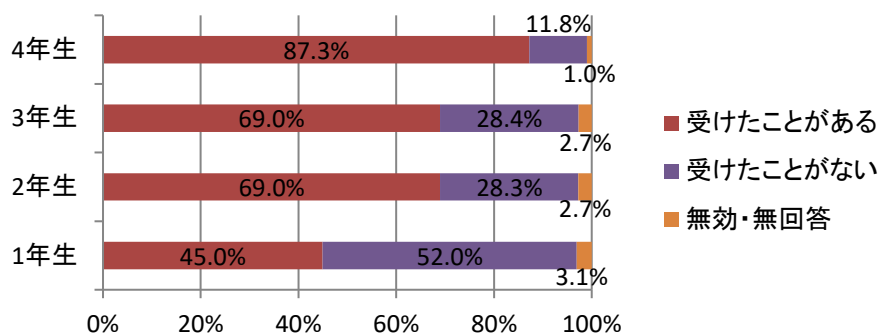


2-7 語学運用能力の成長

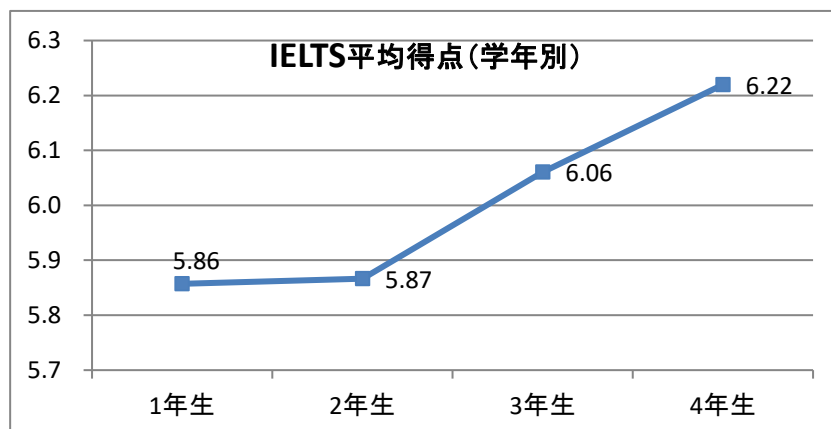
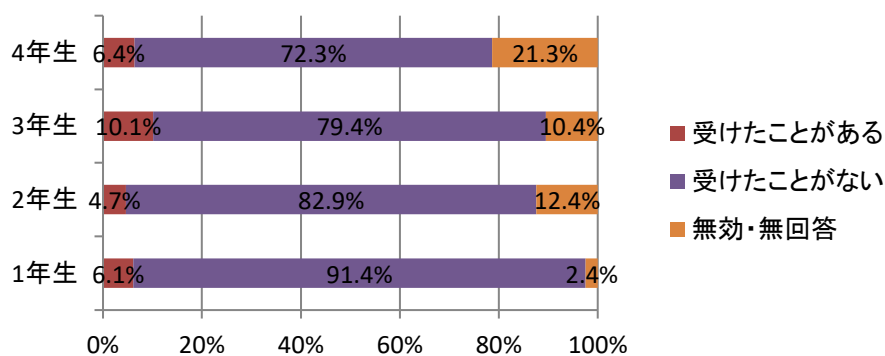
※2016年11月実施「第2回学生生活調査」より（回収率65.6%） n=1,236

■英語運用能力の伸び

TOEIC受験状況(学年別)



IELTS受験状況(学年別)



■ロシア・中国・イスパニア学科の語学運用能力

【ロシア学科 3・4 年生の受験状況】

・ロシア語能力検定

	1級	2級	3級	未回答	合計
3年生		2	1	23	26
4年生		1	1	16	18
合計	0	3	2	39	44

・ロシア語検定試験

	第3レベル	第2レベル	第1レベル	基礎レベル	未回答	合計
3年生		1	0		25	26
4年生		1	3		14	18
合計	0	2	3		39	44

※アンケート回収率 3 年生回収率 57.8% (n=26)

4 年生回収率 45.0% (n=18)

【中国学科 3・4 年生の受験状況】

・HSK

	6級	5級	4級	3級	未回答	合計
3年生	4	5	2		22	33
4年生	24	4			12	40
合計	28	9	2	0	34	73

・中国語検定

	1級	準1級	2級	3級	未回答	合計
3年生			1		32	33
4年生			4	3	33	40
合計	0	0	5	3	65	73

※アンケート回収率 3 年生回収率 64.7% (n=33)

4 年生回収率 80.8% (n=40)

【イスパニア学科 3・4 年生の受験状況】

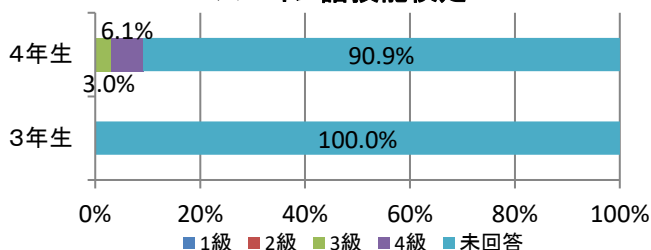
・スペイン語技能検定

	1級	2級	3級	4級	未回答	合計
3年生					23	23
4年生			1	2	30	33
合計	0	0	1	2	53	56

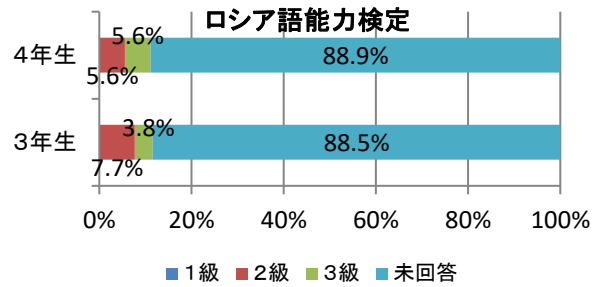
・DELE

	C2	C1	B2	B1	未回答	合計
3年生			2	1	20	23
4年生			9	2	22	33
合計	0	0	11	3	42	56

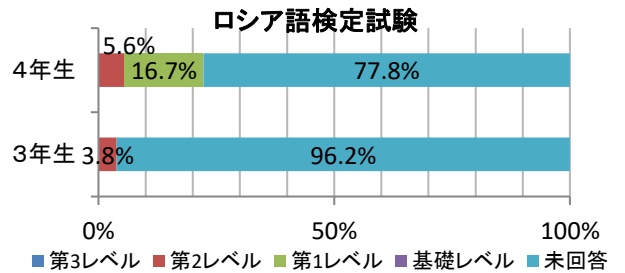
スペイン語技能検定



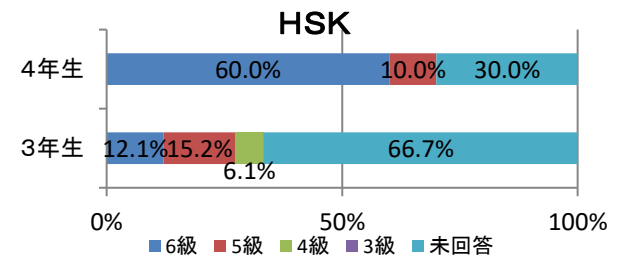
ロシア語能力検定



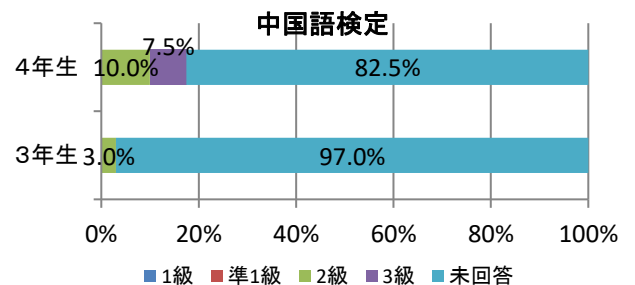
ロシア語検定試験



HSK



中国語検定

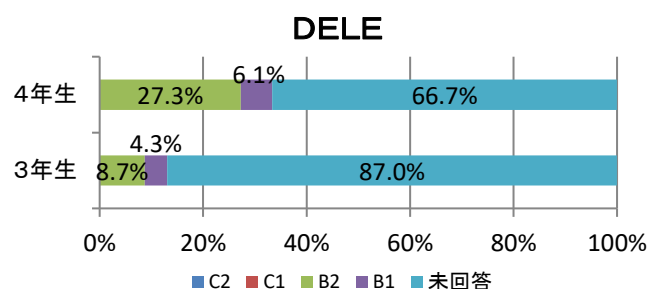


※アンケート回収率

3 年生回収率 52.3% (n=23)

4 年生回収率 75.0% (n=33)

DELE



2-8 課外活動状況

■学生の優れた課外活動・・・クラブなどの対外試合や学生が個人的に参加した行事等で上位に入賞し、主催者より表彰された課外活動（2017年度）

外国語コンテスト等

第16回「漢語橋」世界大学生中国語コンテスト西日本地区予選大会

5月22日、関西外国語大学において、「第16回『漢語橋』世界大学生中国語コンテスト西日本地区予選大会」が行われ、中国学科4年の緋谷翼さんが3等賞を受賞しました。

本学大学院の学生が「漢日対比言語学研究会論文賞」を受賞

本学大学院文化交流専攻、肖海娜さんの論文『「形容詞+名詞」による発見・感嘆表現の日中対照』（『日本語文法』2016年16巻1号）が、漢日対比言語学研究(協作)会（日訳:漢日対比言語学研究(協作)会）に応募のあった若手研究者（45歳以下）の論文中、最も優れた論文として表彰されました。

本学学生が「第9回兵庫県中国文化交流会中国通コンテスト」で最優秀賞を受賞

10月7日、兵庫県中央労働センターにおいて、「第9回兵庫県中国文化交流会中国通コンテスト」が行われ、中国学科4年の山本果歩さんが創作部門で最優秀賞を受賞しました。

本学大学院博士課程の学生が、「2017年度日本アメリカ文学会新人賞」を受賞

本学大学院博士課程3年の井上詩歩子さんが「2017年度日本アメリカ文学会新人賞」を受賞しました。

本学学生が、「第35回全日本中国語スピーチコンテスト発表会兵庫県大会」で優勝

10月21日、神戸市教育会館において、「第35回全日本中国語スピーチコンテスト発表会兵庫県大会」が行われ、中国学科2年の鐘築拓也さんが朗読部門で優勝しました。

本学学生が、「第35回全日本中国語スピーチコンテスト大阪府大会」で準優勝

10月29日、大阪スカウト会館において、「第35回全日本中国語スピーチコンテスト大阪府大会」が行われ、第2部英米学科1年の陸紗耶さんが朗読部門で準優勝しました。

本学学生が、「第53回全国学生スペイン語弁論大会」で準優勝

11月11日、京都外国語大学において、「第53回全国学生スペイン語弁論大会」が行われ、イスパニア学科3年の高野菜於さんが準優勝しました。

本学学生が「第26回関西ロシア語コンクール」で4人入賞

11月27日、大阪府社会福祉会館において、「第26回関西ロシア語コンクール」が行われ、中級部門においてロシア学科2年乾智絵さんが第1位、上級部門においてロシア学科4年小島拓也さんが第3位、ロシア学科3年垣田修武さんが特別賞、ロシア学科4年林彩香さんが総領事館賞を受賞しました。

本学学生が「第1回兵庫県学生英語プレゼンテーションコンテスト」で最優秀賞

12月3日、神戸学院大学において、「第1回兵庫県学生英語プレゼンテーションコンテスト」が行われ、第2部英米学科4年の村岡英樹さんが最優秀賞を受賞しました。

本学学生が「第27回創価大学創立者杯ロシア語スピーチコンテスト」で2人入賞

12月10日、創価大学において、「第27回創価大学創立者杯ロシア語スピーチコンテスト」が行われ、エレメンタリー部門においてロシア学科2年の安部徹さんが準優勝、同じく同学科2年の乾智絵さんが第4位を受賞しました。

本学学生が「第35回全日本中国語スピーチコンテスト」で第1位、外務大臣賞、日本中国友好協会会長賞を受賞

1月7日、東京・日中友好会館において、「第35回全日本中国語スピーチコンテスト」が行われ、大学生部門で中国学科4年の山本果歩さんが第1位・外務大臣賞・日本中国友好協会会長賞、中国日本友好協会賞を受賞しました。

世界模擬国連関係

本学学生が「世界模擬国連カナダ大会」で OUTSTANDING POSITION PAPER を受賞

11月に開催された「世界模擬国連カナダ大会」において、エジプト外交団として参加したイスパニア学科3年の寺本晶子さん、第2部英米学科4年の村岡勇太さんが安全保障理事会で Outstanding Position Paper（上位10%に与えられる賞）を受賞しました。

本学学生が「世界模擬国連ニューヨーク大会」で大活躍

2018年3月に開催された「世界模擬国連ニューヨーク大会」において、南アフリカ外交団として参加した英米学科2年の木村友香さんと2部英米学科2年の小林光梨さんが国連総会第2委員会で、Outstanding Position Paper を受賞しました。また、英米学科3年の池田桃子さんと国際関係学科2年の永尾崇晃さんのチームは、気候変動を原因とする難民・移民の問題などを話し合った国際移住機関に、国際関係学科2年の椋山美生さんと同1年のハイムズ風乃さんのチームは、テロ対策と人権保護などを議論した国連人権理事会に参加しました。これらの活躍が認められ、本学とウェストファーレン応用科学大学は、外交団奨励賞を受賞しました。

スポーツ関係

弓道部がリーグ戦で優勝

9月10日～11月5日関西学生弓道リーグ戦が行われ、女子弓道部が3部で優勝し2部へ昇格しました。

その他

本学学生が、「西宮市展若手奨励賞」を受賞

7月1日～9日、西宮市立市民ギャラリーにおいて「第67回西宮市展」がひらかれ、第2部英米学科小南智美さんが、「西宮市展若手奨励賞」を受賞しました。

第13期親善大使「スマイル神戸」

イスパニア学科1年の農端結希さんが、神戸市の親善大使である「スマイル神戸」に選ばれ、10月3日（火曜日）から神戸市の観光宣伝事業、親善交流事業等で活躍しています。

■語劇祭・・・本学の誇る学生イベントのひとつで、各学科の5つの劇団が各々の専攻語を用いた劇を上演する伝統行事。演目はコメディ、サスペンス、悲劇と多岐にわたり、開催にあたっては、教員も台本の選定や発音の指導等に協力し、外大の語学教育の一翼を担っている側面がある。

日時 (2017 年度)

2017 年 11 月 25 日 (土曜) 10 時 30 分～19 時 30 分

2017 年 11 月 26 日 (日曜) 10 時 30 分～18 時 30 分

場所

神戸アートビレッジセンター (神戸市兵庫区新開地 5 丁目 3 番 14 号)

プログラム

中国語劇団 「長江 乗合い船」

住宅価格の高騰により、赤の他人同士が狭い団地の一室で同居していた。新婚夫婦の劉強と米玲は同居人の方ばあさんにうんざり。どうにか追い出せないものか・・・

そしてふたりは思いつく。雑誌に結婚広告を載せ、方ばあさんを嫁に行かせるのだ！

軽い気持ちで勝手に載せた広告だったが、本当に応募者が現れてしまって——

不思議な巡り合わせで繋がる人と人との縁。彼らは何を選び、何を選ばずに生きるのか。

英米語劇団 「真面目が大切」

田舎貴族のジャックは「アーネスト」という架空の弟に会いに行くという嘘をついて度々ロンドンへ出かけ、ロンドンで自らを「アーネスト」と名乗り、貴族の娘グエンドレンと交際していた。一方ロンドンに住むジャックの友人アルジャンンは、ジャックの姪で田舎に住むセシリーに興味を持ち、セシリーがジャックの架空の弟「アーネスト」に惹かれていることを利用して、自らを「アーネスト」と名乗りセシリーと恋仲に。しかし、この二人の偽の「アーネスト」がやがて混乱を招き・・・英米語劇団が送る爆笑必至のラブコメディ！

第 2 部英米語劇団 「たいせつな ひと」

Lacey は 20 代後半の 3 児の母、Peter は中年のビジネスマン、Abbie は中学生。見知らぬ部屋で我に返り、ドアから外へ出られないことに気付く、初対面の 3 人。——どのように部屋へ入ったのか？なぜここに居るのか？3 人に共通するものは何なのか？そこへお茶を出しにやってくる中年の Tea Lady は、すべての問いに答えをくれるのか？そして、3 人とも部屋を出ることができるのか？——最後には、ほっこり暖かい、すてきな結末が待っている・・・かもしれない。

イスパニア語劇団 「Prohibido Suicidarse en Primavera 春に自殺はおことわり」

芸術的な死を提供する「自殺クラブ」。そこには孤独、失恋、肉体からの解放・・・様々な理由により、自ら死を望む人々が集まっていた。ある日このクラブに、死とは縁遠い、愛と幸福に満ち溢れたフェルナンドとチョーレのカップルが迷い込む。彼らはそこで、兄フェルナンドの陰で劣等感に苦しむ弟フワンとの再会を果たす。自殺クラブで起こる数多の偶然の出会い。運命は動き出す。

「生きることは義務です。しかし・・・」

ロシア語劇団 「かもめ」

大女優が所有する湖のほとりの邸宅、野望と自信にあふれる劇作家志望の青年と名誉と恋愛にあこがれる女優志望の純粋な娘のもとに、名声を望むままに手に入れた作家が現れる。三人の運命は激しく交ざりあい、純粋なものは世の俗物に染まり、その姿を変えていき、静かに湖の水面へと消えていく。彼らを取り巻く複雑な人間関係、そして各々の行く末と、理想と現実のはざままで苦しむ姿を描いたチェーホフの最も私的な作品。



受賞結果

最優秀劇団賞	イスパニア語劇団
最優秀男優賞	澤田 佳祐 (イスパニア語劇団・4年)
最優秀女優賞	仲山 風花 (ロシア語劇団・2年)
優秀劇団賞	英米語劇団
優秀男優賞	松元 悠樹 (英米語劇団・2年)
優秀女優賞	佐々木 瞳 (英米語劇団・1年)
若葉賞	赤津 綾子 (英米語劇団・1年)
	武島 知音 (中国語劇団・2年)
ベスト キャラクター賞	武島 知音 (中国語劇団・2年)
	赤津 綾子 (英米語劇団・1年)
	関谷 実咲 (第二部英米語劇団・2年)
	伊藤 鴻志郎 (イスパニア語劇団・1年)
	仲山 風花 (ロシア語劇団・2年)
音響賞	ロシア語劇団
照明賞	イスパニア語劇団
字幕賞	イスパニア語劇団
舞台美術賞	英米語劇団
衣装メイク賞	英米語劇団

3 研究

3-1 科学研究費助成事業

■採択研究課題一覧（2012～2017年度）

【基盤研究(A)】

研究課題名	採択年度	最終年度
チベット語最古層の形成とその構造推移 ーデータベース解析による辞書と歴史文法の編纂	2012	2016

【基盤研究(B)】

研究課題名	採択年度	最終年度
入札制度の競争性確保と公共工事の品質維持の両立に関する学際的研究	2008	2010
漢語諸方言における周辺諸言語との言語接触による類型推移現象の実証的研究	2010	2013
メコン川中流域を中心とした諸言語の言語実態と変容プロセスの研究	2017	2021

【基盤研究(C)】

研究課題名	採択年度	最終年度
ラフカディオ・ハーンの<トランスナショナル>アメリカ: 報道・翻訳・創作	2012	2014
現代方言に基づくアクセント類別語彙の研究	2012	2014
語基の音節構造と強勢パターンの分布: 記述と理論的予測	2012	2014
リフレクティブ・プラクティス実践過程における英語教師の談話の変容に関する実証研究	2012	2014
十八世紀末ウィーンにおけるメディアとしての銅版画	2012	2017
南ラオスの農村開発とその社会・文化的整合性に関する人類学的研究	2012	2015
イノベーションの類型化と製品ライフサイクルに関する理論・実証研究	2012	2014
賦課方式年金がマクロ経済に及ぼす影響	2012	2014
ガイドブックの詩学—19世紀湖水地方における文化的景観の変容と文学観光	2013	2016
ロシア宗教ルネサンスの思想と世界戦争	2013	2017
満洲語の意味と用法からアプローチする清代北京語の語彙・語法研究	2013	2015
現代スペインの諸言語の形態論についての対比的研究	2013	2015
近現代南アジアにおける軽工業製品雑貨: 広域流通、政治・文化表象、慈善	2013	2015
アンデス文明形成期の社会モデル再検討: 神殿壁面装飾の分析を中心に	2013	2015
通商政策/対外経済政策の個人選好の政治経済学的分析	2013	2015
中国環境訴訟における受理プロセスの実態と環境被害者救済の課題	2014	2017
バスク語諸方言の文法記述(「親世代」と「子世代」のことばの違いをめぐって)	2014	2018
東南アジア大陸部北部地域の諸言語の地域特徴と接触による言語変容の研究	2014	2016
予定調和を崩す構造を備えた外国語アクティビティの開発と研究: 即興劇の手法を用いて	2014	2016
Empirically Grounded Training Materials for International Negotiation	2014	2017
19世紀英領植民地世界における「家族の標準化」とその限界	2014	2017
政策評価分析の手法による資本規制と為替制度に関する実証研究	2014	2016
Japanese Shakespeare in the New Millennium	2015	2017
主節現象の統合的説明に向けた研究: 話題化構文を中心に	2015	2017
ロシア語の動詞語形成の包括的記述—複合概念の形成と言語的世界像	2015	2017
強勢・アクセントの型のバリエーションの日英語比較: 可能な型の範囲と普遍性	2015	2018
産業ごとの産出の人的資本弾力性の差異と貿易構造に関する動学的研究	2015	2018
ジェームズとハーンの<海を越える語り>: アメリカ帝国主義とトランスナショナルリティ	2016	2018
アメリカ文学における核と原爆の言説—人種とエスニシティと環境のポリティクス	2016	2019
現代スペインの諸言語の音声・音韻的現象に関する対比的研究	2016	2018
印欧祖語とラテン語の中間段階がもつ言語特徴について	2016	2019
清代の満漢対訳会話書類に関する総合的研究	2016	2018
チベット・ビルマ語派ルイ語群の未記述方言調査によるルイ祖語の研究	2016	2019
他動性に対する「視点」の作用に関する日中対照研究: 認知意味論に基づいた誤用分析	2016	2018
自由貿易協定の政治経済学的分析	2016	2018
東アジア哲学の共通基盤としての数理と論理	2017	2020
大衆旅行時代におけるロマン主義精神の継承—湖水地方の観光と文化的景観の変容	2017	2020
20世紀中国の文学形式と抒情の定型—ジャンル・言語・地域の越境面から見る	2017	2019
近現代南アジアにおける中下層の消費と社会・文化表象: 軽工業製品雑貨の市場の多様性	2017	2019
成熟経済でのバラッサ・サミュエルソン効果の有効性-労働市場の構造変化との関連から	2017	2019

【挑戦的萌芽研究】

研究課題名	採択年度	最終年度
第3言語学習者の言語コントロールと認知コントロールに関する横断的・縦断的研究	2016	2018

【若手研究(B)】

研究課題名	採択年度	最終年度
バイリンガルの言語産出における言語選択のタイミングについての研究	2012	2014
アメリカ核文学研究と北米先住民作家	2013	2015
チベット・ビルマ語派ルイ語群と周辺言語との言語接触にかんする研究	2013	2015
権限と人事の契約理論的分析	2013	2016
会計情報に対する意見不一致が及ぼす影響に関するモデル分析	2013	2015
中国近代文学における白話文体形成とジャンル間影響：欧化・方言・文言吸収の諸相から	2013	2016
日本イスラム教団の布教活動とその日本イスラーム受容史における位置づけ	2014	2016
中央アジア出土史料による古代チベット帝国の文書行政システムの研究	2014	2016
11-13世紀におけるチベット仏教カダム派の研究ー寺院を中心として	2015	2017
ドホイ語の言語文化記述の基盤作成	2015	2018
一時帰郷としてのルーツ観光体験が移民子孫の心理に及ぼす影響	2016	2017
出土資料研究によるチベット古代宗教の諸相解明	2017	2019
琉球王国最末期の漢文学者・蔡大鼎の日本・中国・琉球に関する知の形成と集積	2017	2020

【研究活動スタート支援】

研究課題名	採択年度	最終年度
非英語圏、特に「アジア」、「日本」におけるシェイクスピアの上演研究	2012	2013
輻射輸送理論による偏光研究と星・惑星形成領域への応用	2014	2015

【特別研究員 奨励費】

特別研究員(DC2)

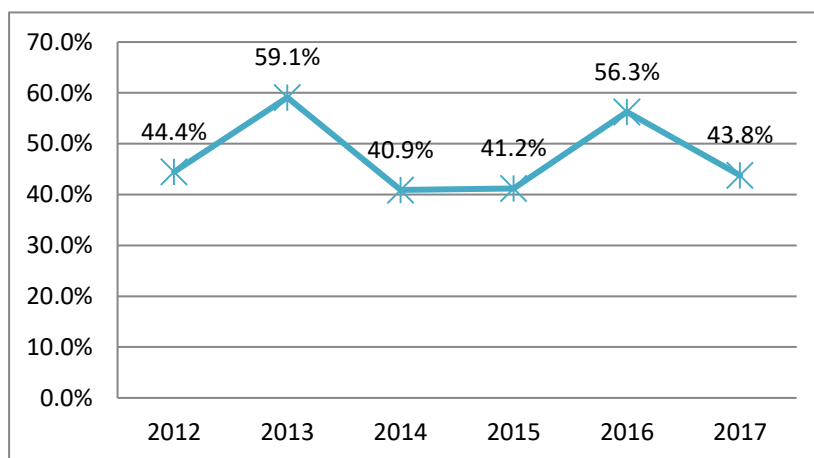
研究課題名	採択年度	最終年度
現代漢語「複用」文と「後置」文の機能的分析ー文末要素の語気助詞化傾向分析を中心に	2015	2016

特別研究員(PD2)

研究課題名	採択年度	最終年度
台湾オーストロネシア諸語におけるアタヤル語群と西部平原諸語の系統研究	2017	2019

■ 科研費採択率の推移

※基盤（A）、（B）、（C）、若手B、挑戦的萌芽のみ



■申請・交付決定件数・金額（千円）

交付決定年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017
申請件数(前年度申請含む)	37件	43件	45件	45件	46件	47件
新規	20件	24件	23件	20件	21件	20件
基盤研究(A)	1件	0件	0件	0件	0件	0件
基盤研究(B)	1件	2件	3件	2件	3件	5件
その他500万円以上	0件	0件	0件	0件	2件	0件
※大型科研申請件数	(2件)	(2件)	(3件)	(2件)	(5件)	(5件)
基盤研究(C)	11件	13件	11件	9件	7件	7件
その他	7件	9件	9件	9件	9件	8件
継続	18件	19件	22件	25件	25件	27件
基盤研究(A)	1件	1件	1件	1件	1件	1件
基盤研究(B)	1件	1件	0件	0件	0件	0件
基盤研究(C)	7件	9件	15件	16件	16件	21件
その他	9件	8件	6件	8件	8件	5件
交付決定件数	28件	31件	32件	34件	38件	35件
(うち新規採択)	(10件)	(12件)	(10件)	(9件)	(12件)	(8件)
基盤研究(A)	1件	1件	1件	1件	1件	1件
基盤研究(B)	1件	1件	0件	0件	0件	1件
基盤研究(C)	15件	16件	22件	21件	24件	25件
若手研究・研究スタート等	11件	13件	9件	12件	13件	8件
交付決定金額(代表分)	42,810	48,400	48,360	44,408	36,374	56,031
直接経費	33,300	37,600	37,200	34,506	28,504	43,131
間接経費	9,510	10,800	11,160	9,902	7,870	12,900
(2)執行額・人数(千円。他大学との分担金交換結果。)						
執行額	44,734	52,313	56,479	50,646	43,627	62,179
直接経費	34,780	40,610	43,445	39,305	34,144	47,895
間接経費	9,954	11,703	13,034	11,341	9,483	14,284
研究代表者(a)	28人(28件)	31人(31件)	32人(32件)	34人(34件)	38人(38件)	32人(32件)
研究分担者(b)	17人(27件)	15人(25件)	18人(34件)	19人(36件)	31人(37件)	31人(38件)
(代表者=学外)	(aと重複6)	(aと重複10)	(aと重複16)	(aと重複14)	(aと重複19)	(aと重複14)
研究分担者(c)	2人	2人	3人	2人	5人	4人
(代表者=学内)	(abと重複7)	(abと重複4)	(abと重複1)	(abと重複1)	(abと重複1)	(abと重複2)
科研費執行者数	47人	48人	53人	55人	54人	51人
研究課題数	55件	56件	66件	70件	75件	73件

※その他には、研究スタート支援、研究奨励を含む。

(再掲)研究種目:「特別研究員奨励費」

交付決定年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017
新規申請人数	4名	3名	4名	2名	4名	1名
交付決定件数	2件	2件	0件	2件	0件	1件
交付決定金額(千円)	1,600	1,600	0	1,500	0	910

3-2 学術論文

■外国学研究 (2012~2017年度)

発行年月	号数	タイトル	執筆者	
2013年 3月	83	アジア言語論叢vol.9	ベトナム語の方向動詞'vao'の文法化 日本語の「こむ」との対照を試みて	茨城大学工学部 教授 村上 雄太郎
			A sketch of Buyuan Jino tones and their development	准教授 林 範彦
			九寨溝口内外藏語语音面貌	エクス・マルセイユ大学・ポ ストドク研究員/国立民族学 博物館・外来研究員 鈴木 博之
			河北方言中“X-ル”形式读音的三大系统	石家庄学院文学与传媒学 院・副教授(准教授) 副教授 李 巧兰
			北方方言“蚯蚓”的对应词(2完) 山东方言的入声及相关的问题	教授 太田 斎
2013年 3月	84	ポスト・グローバル時 代のデモクラシー	ポスト・グローバル時代のデモクラシー序説	教授 村上 信一郎
			「グローバルリゼーション」の波間に漂い続ける「民主主義」社会	教授 村田 邦夫
			「ポスト・グローバルリゼーション」の時代ははたして到来するのか	
			「インターナショナルリゼーション」の時代における「民主主義」論	教授 村上 信一郎
			言説としての政治文化論批判	教授 田中 敏彦
2013年 3月	85	「文明社会」とその 「他者」たち— 近代イギリスにお ける「他者」への態度 の変容	韓流ブームの底流—「脱亜入欧」からの脱却	教授 光永 雅明
			はじめに	教授 指 昭博
			近世イングランドにおける日本像 —ピーター・ヘイリンを中心に—	准教授 並河 葉子
			イギリスにおける反奴隷制運動と女性	神戸女子大学文学部 准教授 吉村(森本)真美
			世紀転換期イギリスにおける青少年問題と退化論	教授 光永 雅明
2015年 3月	86	英語教育と日本語	「文明社会」における動物たち —ヘンリ・S・ソルトによる動物の擁護—	教授 村田 純一
			英語教育における日本語の役割	関西学院大学 教授 長谷 尚弥
			パラフレーズによる英語リーディング指導	准教授 星野 徳子
			心理言語学的手法によるバイリンガリズム研究からの知見:教室 での使用言語について	教授 横田 玲子
			小学校国語教育と英語教育 その導入期の教材と指導について	教授 山口 治彦
2015年 3月	87	英語学基礎科目に おける教授方法の研 究	可算と不可算の不可思議 学校英文法から英語学の発想へ	教授 三間 英樹
			「空耳アワー」にみる音の類似と弁別素性	准教授 那須 紀夫
			文の階層性と文法現象	教授 本多 啓
			Be Going Toはどのような仕組みで未来を表すのかについて、た どたどしく考える	
			Even Ifに見るEvenの力	
2015年 3月	88	越境する女性詩人た ち—モダニズム再考	モダニズム、そして、それから:マリアン・ムアーとエリザベス・ピ ショップ	神戸女学院大学 名誉教授 別府 恵子
			「マティス」と「ピカソ」—ガートルード・スタインの文学的肖像と反 復	神戸女学院大学 教授 三杉 圭子
			モダニズムのコラボレーション—H.D.の映像製作と詩	神戸市外国語大学 非常勤講師 三宅 あつ子
			“A Litterbug”詩学—ミナ・ロイのモダニズム	教授 難波江 仁美
			受難における連帯:Edith Sitwell, “Still Falls the Rain”における聖 書の引喩	教授 西川 健誠
			ローウェルとキーツ	近大姫路大学 非常勤講師 谷川 由記
			狂気と正気のはざままで—パロネス・エルザの軌跡	教授 辻本 庸子
			荒地から耕地へ—Vita Sackville-WestのThe Land(1926)	准教授 吉川 朗子
2015年 12月	89	ENSEÑAR ESPAÑOL EN JAPÓN Guía sobre algunos aspectos de la enseñanza a japoneses	教授 Montserrat Sanz Yag üe	
			南山大学 教授 Arturo Escandón Godoy	
			講師 Juan Romero Díaz	
			神戸市外国語大学 非常勤講師 Danya Ramírez Gómez	
			神戸市外国語大学 非常勤講師 Roger Civit i Contra	

2015年 12月	90	Storytelling: Repositioning Literary Texts in Language Teaching	Repositioning Literary Texts in Language Teaching: The State of the Art	教授 Donna Hurst Tatsuki
			The "Ripple Effect" of Literary Texts: Researching, Translating, Applying	Sapienza University of Rome Marina Morbiducci
			Communicative Methods for Using Literature in the EFL Classroom	Iwate University Bern Mulvey
			With Challenge and Support: Integrating Skills, Language and Content in a Literature Unit in EFL for Japanese Learners	准教授 Lori Zenuk-Nishide
			Three Men in a Boat: Jack, Guy and King Cole Teaching Language and Culture through Nursery Rhymes and Famous Proper Names	Tuscia University Alba Graziano
			Oral Stories and Storytelling for Language Teaching	Nanyang Technological University Soe Marlar Lwin
			Telling Stories to Children: The Waldorf/Steiner Education Approach	University of Hyogo Brian D. Bresnihan
			Tell me a Story: Oral Interpretation in the English Classroom	Nanzan University David Kluge
			Act it Out: From Drama to Literature	Kobe Shoin Women's University Frances Shiobara
			Storytelling and Literary Texts in ELT: Future Directions	教授 Donna Hurst Tatsuki
			2015年 12月	91
グローバル化統治に抗するバスケットボール スポーツ	教授 竹谷 和之			
モンゴルにおけるスポーツ文化のグローバリゼーション —〈世界〉へ参入する手法としての「スポーツ」—	奈良教育大学 准教授 井上 邦子			
「じか」「からだ」そして「にんげん」について —竹内敏晴の思想と 実践にふれて—	相山女学園大学 教授 三井 悦子			
体操競技の現状と問題性	大阪学院大学 教授 松本 芳明			
「体操」から「体づくり運動」へ	びわこ成蹊スポーツ大学 教授 菅井 京子			
Sport for Tomorrowとスポーツボランティア —コスタリカ、ペルー、エルサルバドルの調査から—	東海大学 教授 松浪 稔			
河童のリアリティを求めて —「河童の相撲好き」その底流にあるの はなにか—	21世紀スポーツ文化研究所 特別研究員 竹村 匡弥			
『記・紀』にみる伝統スポーツ —古代日本の相撲とポスト・グロー バル化—	21世紀スポーツ文化研究所 特別研究員 船井 廣則			
武術における「放擲」を考える	札幌大学 教授 瀧元 誠樹			
古代からポスト・グローバル時代までのバスケット地方と世界における スポーツ文化私論	バスケット州立チヨリエリ中学・ 高校教諭 パブロ・アントニオ・マルティ ン・ボッシュ(アリチ)			
2016年 12月	92	アジア諸言語の通時的、共時的研究	教授 太田 斎	

■研究年報（2012～2017年度）

発行年月	号数	タイトル	執筆者
2013年 3月	49	Formation and Transformation of Old Tibetan	Tsuguhito TAKEUCHI
		Reconsidering the Sino-Tibetan Treaty Inscription	Kazushi IWAO
		Old Tibetan Rock Inscriptions Near Alchi	Tsuguhito TAKEUCHI
		The Flow of Eastern Tibetan Colloquial [^] e into Middle Tibetan	Izumi HOSHI (ILCAA, Tokyo University of Foreign Studies)
		Dramatizer in Purik and How They-Smack!-Evolved	Marius ZEMP (University of Bern)
		Exploring the Linguistic Influence of Tibet in Ladakh(La-dwags)	Tsetan NAMGYAL (Jawaharlal Nehru University)
		Preliminary Field Report on dPa'ris Dialect of Amdo Tibetan	Shio EBIHARA (Japan Society for the Promotion of Science)
2013年 7月	50	身体—ある乱丁の歴史	東京外国語大学教授 今福 龍太
		スポーツのグローバリゼーションにみる<功>と<罪> —伝統スポーツの存在理由を問う—	21世紀スポーツ文化研究所主幹研究員 稲垣 正浩
		身体に向かうグローバリゼーション —モンゴル国伝統スポーツの事例より—	奈良教育大学准教授 井上 邦子
		自意識が変容する身体の実験について	椋山女学園大学教授 三井 悦子
		ヨーガのグローバル化 —グローバル化によるヨーガの多様化とその変容—	大阪学院大学教授 松本 芳明
		バスク伝統スポーツとグローバリゼーション	教授 竹谷 和之
		河童の相撲好きと修祓の思想	21世紀スポーツ文化研究所特別研究員 竹村 匡弥
		日本における近代的身体概念の形成	東海大学准教授 松浪 稔
		古武術の伝承について	札幌大学准教授 瀧元 誠樹
		鬼ごっこを考える —遊びに現れる鬼(カミ)について—	名古屋経済大学短期大学部教授 船井 廣則
		グローバル化と身体の方	東京外国語大学教授 西谷 修
2014年 3月	51	Preface	教授 武内 紹人
		The Future of Young Tibetologists	Charles Ramble (Directeur d'études, École Pratique des Haute Études)
		The Ritual Evolution of the Nechung Protector Deities	Christopher Bell (Stetson University)
		Competition for the Mountain Landscape: the Ritual Territories of feng shui and the yul lha Cult in the East Frontier Region of Amdo	Yusuke Bessho (Hiroshima University)
		A Chinese Imperial Decree and the Yangton Lama of Dolpo	Nyima Woser Choekhortshang (Charles University)
		Emperor, Dharmaraja, Bodhisattva? Inscriptions from the Reign of Khri Srong lde brtsan	Lewis Doney (Ludwig-Maximilians-Universität)
		The Inclusive-Exclusive Distinction in Spoken and Written Tibetan	Shiho Ebihara (Research Institute for Languages and Cultures of Asia and Africa)
		Remembering History in Amdo: Three Literary Accounts for the Years from 1956 to 1976	Franz Xaver Erhard (University of Leipzig)
		Unsolved 'bon' Puzzle: The Classical Definitions of Bon	Kalsang Norbu Gurung (Universtiy of Bonn)
		Selection at the Gate: Access to the Monkhhood and Social Mobility in Traditional Tibet	Berthe Jansen (Leiden University)
		Sum-pa Ye-shes-dpal-'byor and the Civil War of Eighteenth Century Tibet: A Preliminary Essay on Ye-shes-dpal-'byor's Many Roles in Tibetan Civilization	Hanung Kim (Harvard Universtiy)
		An Analytical Study of the Tibetan Record of the Simla Conference (1913-1914): Shing stag rgya gar 'phags pa'i yul du dbyin bod rgya gsum chings mol mdzad lugs kun gsal me long	Ryosuke Kobayashi (Universtiy of Tsukuba)
		The Political Relationship between Tibet and the Qing Dynasty in the Latter Half of the Eighteenth Century and the Nineteenth Century: An Analysis of How bka'-blon was Chosen	Yuri Komatsubara (Meiji University)
		Between Indigenous Religion and Religious Minorities: Bonpos' Attempts to Continue Tradition in Contemporary China	Kengo Konishi (Otani University)
			Lhundrup Dorje (Qinghai Normal University)
		Reciters and Chanters: Monastic Musicians in Buddhist Law Texts	Cuilan Liu (Harvard Universtiy)
		Rethinking the Recently 'Discovered' Bon/Zhangzhung Traditions: the Case of Yungdrung Shon Dance (gyung drung shon rtсед)	Yu-Shan Liu (National Chiao Tung University)
		The Three objects of Buddhist Epistemology	Thupten Gawa Matsushita (Kokoro Research Center, Kyoto University)
		Compositional Styles in Classical Tibetan Literature: The Poetic Verse of 'Jam dbyangs bzhad pa ngag dbang brtson 'grus	Hiroshi Nemoto (Qin Hai Normal University)

		Bird Divination in Old Tibetan Texts	西田 愛
		gSang phu ne'u thog-- Its Contribution to the Re-establishment and Development of Tibetan Buddhism in the Later Diffusion (phyi dar) Period --	Fumihito Nishizawa (University of Tokyo)
		Tibetan Rgyal chen bzhi Iconography: Comparing the Representation of Asian Buddhist Deities	Emi Oba (Kanazawa University)
		Land-centered Perspective: A New Way of Looking at Tibetan Traditional Society	Kensaku Okawa (University of Tokyo)
		Narrating the Land: Preliminary Thoughts on Polysemic Space in Amdo Oral Tradition	Valentina Punzi (Valentina Punzi)
			Reb gong ba Sha bo rta mgrin (Central University of Tibetan Studies)
		An Avuncular Profile: An Examination of the Maternal Uncle (Azhang) and his Significance in Tibetan Culture	Jonathan Samuels (Heidelberg University)
		When Buddhist Teachings Meet - Preliminary Remarks on the Relationship between the Four Dharmas of Sgam po pa and Kun dga' snying po's Parting from the Four Attachments	Rolf Scheuermann (University of Vienna)
			Camille Simon (Université Paris 3 - LACITO)
		Pha-dam-pa Sangs-rgyas in Tangut Xia: Notes on Khara-khoto Chinese Manuscript TK329	Penghao Sun (Renmin University of China)
		On the Unknown History of a Himalayan Buddhist Enclave: Spiti Valley before the 10th Century	Tashi Tsering (University of British Columbia)
		Performing Text as Practice: Rdza Dpal sprul's Practice Manual on the Bodhi(sattva)caryavatara	Markus Viehbeck (University of Heidelberg)
		Nyang-ral Nyi-ma 'od-zer's Theory of the Three Vehicles	Akinori Yasuda (Kyoto Women's University)
2015年 3月	52	Nuestro cuerpo como una historia mal encuadrada	IMAFUKU Ryuta (Universidad de Estudios Extranjeros de Tokyo)
		Mérito y Demérito en la Globalización del Deporte :Sobre las Justificaciones para la Existencia de los Deportes Tradicionales	INAGAKI Masahiro (Instituto de Cultura Deportiva del Siglo XXI)
		La Cultura Deportiva Tradicional del País Vasco y la Globalización	TAKETANI Kazuyuki
		Una aproximación al Onigokko(juego del corre que te pillo): Acerca de los Oni(ogros) que aparecen en los juegos	FUNAI Hironori (Escuela universitaria de Economía de la Universidad de Nagoya)
		Globalización del yoga : Cambio y diversificación a causa de la globalización	MATSUMOTO Yoshiaki (Universidad de Osaka Gakuin)
		Transformación de la autoconciencia mediante la experiencia física	MII Etsuko (Universidad de Mujeres de Sugiyama)
		La Globalización y el Cuerpo Humano : el Caso de los Deportes Tradicionales de Mongolia	INOUE Kuniko (Universidad de Educación de Nara)
		La Afición de los Kappa por el Sumo y el Shubatsu	TAKEMURA Masaya (Instituto de Cultura Deportiva del Siglo XXI)
		Formación del Concepto de Cuerpo Moderno en Japón : Ejército•Educación•Medios de Comunicación	MATSUNAMI Minoru (Universidad de Tokai)
		Sobre la tradición de las artes marciales de estilo tradicional (Kobujyutsu)	TAKIMOTO Seiki (Universidad de Sapporo)
		La Globalización y el porvenir del cuerpo	NISHITANI Osamu (Universidad de Rikkyo)
		Del Juego Tradicional al Deporte :La Imparable Mundialización del Juego Deportivo	Pierre Parlebas (Universidad de París V Sorbona, Profesor emérito)
		Los Juegos Tradicionales del Japón a los ojos de un imprudente seguidor de San Francisco Javier	Joseba Etxebeste Otegi (Universidad del País Vasco)
		Actividades físicas, globalización e identidad individual	Asier Oiarbide Goikoetxea (Universidad del País Vasco)
		Pelota vasca y Globalización	Oidui Usabiaga rruabarrena (Universidad del País Vasco)
		Interculturalidad global: vascos en el mundo El tiempo de las danzas vascas como elemento de socialización americana: el caso del Zazpiak Bat de Reno, Nevada	Clara Urdangarin Liebaert (Universidad del País Vasco)
		Expresión emocional en el baile folklórico vasco	Carmen Ereño Álvarez (Universidad del País Vasco)
		Significación de la Educación Física de Primaria (6-12 años) en el País Vasco	Alfredo López de Sosoaga López de Robles (Universidad del País Vasco)
		Ningún niño sin saber nadar	Amaia Larrañaga Otaño (Universidad del País Vasco)

2016年 3月	53	What is reflective practice?	Jo TRELFA
		Use of epistemological lenses on the ambiguity of reflective practice:	Ken TAMAI
		What is it to reflect on experience?	Mark MONAHAN (Trinity College)
		Reflection, emotion and knowledge of the self	Jo TRELFA (University of St. Mark & St. John)
		Whatever happened to 'reflective practice' ?	Atsuko WATANABE (Inter National Christian University)
		A reflective continuum: Development of reflection	Ian NAKAMURA (Okayama University)
		Exploring, reflecting, and taking action through forms of 'practitioner research' and why professional development through research is essential for teachers and teaching	Joan M. KURODA
2016年 12月	54	How the intersubjectivity of teacher and learner reflections contributes to transformative learning experiences	教授 立木 ドナ
		Teaching Narratives	教授 立木 ドナ
		How to Teach Narratives : A Survey of Approaches	David KLUGE (Nanzan University)
		Oral Interpretation : Telling Stories with Our Whole Body	准教授 三野宮 春子
		Visual Plus Verbal : Improvisational, Collaborative Storytelling for Creativity	Curtis KELLY (Osaka Gakuin University)
		The Neuroscience of Stories and Why our Brains Love Them	教授 立木 ドナ
		Narratives about Teaching : Remembrance, Reflection and Controversy	Liliana LANDOLFI (University of Naples "L'Orientale", Italy (Associate Professor))
		Self-narratives in Pre-/Post-visualization : Raising Language Learners' Emotivation and Awareness	准教授 Lori ZENUK-NISHIDE
		Reflections on a Model United Nations Simulation	Brian Daniel BRESNIHAN (University of Hyogo)
2016年 12月	55	What's a Language Teacher to Do?	編者 金子 百合子
		現代スラヴ・アスペクト研究の動向	准教授 金子 百合子
		まえがき 活動報告	ロシア科学アカデミー言語学研究所研究室長
		類型論におけるアスペクト論	ヴィクトル・S・フラコフスキー
		通言語的視点からのアスペクト	ロシア科学アカデミー ヴィノグラードフ記念ロシア語研究所 研究部門副所長
		動詞の語彙的アスペクト	ヴラジーミル・A・ブルンギャン
		ロシア語のアスペクトの語彙的および構成的要素	サンクトペテルブルク 国立大学教授 エレナ・V・ゴルボヴァ
2017年 12月	56	マースロフのアスペクト理論における主要概念	ロモノーソフ記念 国立モスクワ大学教授 セルゲイ・G・タテウォーソフ
		動詞の体のスラヴ諸語間対照研究 —スラヴ語を背景にしたロシア語の体—	ロシア科学アカデミー 全ロシア科学技術情報研究所主席 研究員 エレナ・V・パードウチェヴァ
		グローバル化周縁における伝統スポーツ文化研究 —神戸市外国語大学・バスク大学第3回国際セミナー—	ロモノーソフ記念 モスクワ国立大学教授 エレナ・V・ペトルーヒナ
		El sentido del deporte tradicional vasco en la era de la globalización	編者 竹谷 和之
		グローバル化とスポーツ	教授 竹谷 和之
		大相撲のパースペクティヴ—スポーツのグローバル化と伝統—	立教大学大学院教授 神戸外国語大学客員教授 西谷 修
		Juegos deportivos y emigración vasca: crítica de una educación física global	21世紀スポーツ文化研究所 主幹 研究員 船井 廣則
Práctica y transformación de las travesías de montaña en Oriente y Occidente	バスク大学 Joseba Etxebeste Otegi		
Las actividades físicas orientales en la oferta deportiva de Gipuzkoa	バスク大学 Axier Oiarbide Goikoetxea		
Juego, cultura y educación. Hacia una educación física contextualizada	バスク大学 Estibaliz Romarate zabala Aldasoro		
			リエイダ大学 Pere Lavega Burgués

		Apuntes para una filosofía del deporte radical y global	リンフィールド大学 Jesús Ilundáin-Agurruza
		Epílogo	TAKETANI Kazuyuki / Joseba Etxebeste Otegi
2017年 12月	57	NMUN 2016: Stakeholder Perspectives on Learning Processes and	編者 Lori ZENUK-NISHIDE
		Introduction to NMUN 2016: Stakeholder Perspectives on Learning	准教授 ZENUK-NISHIDE
		Processes and Outcomes	教授 立木 ドナ
		Overview: Hosting the National Model United Nations Japan 2016	准教授 Lori ZENUK-NISHIDE
		Large Delegation Preparation through Co-Teaching and Co-Learning	准教授 Lori ZENUK-NISHIDE 京都外国語大学教授 Craig SMITH
		Pedagogical Meaning of the Cultural Visits for the Host University	教授 玉井 健
		Volunteers:Through the Eyes of Leaders	教授 立木 ドナ
		Stakeholder Perspectives on NMUN Ceremonies	教授 立木 ドナ/准教授 Lori
		The UN Forum and Faculty Lecture at NMUN: Bringing Expertise to MUN	ZENUK-NISHIDE
		Simulations	
		National Model United Nations and the First Student Press Corps: With a	准教授 繁沢 敦子
		Thought on Journalism	
		Education at Japanese Universities	
NMUN Japan 2016: Sustaining Multilateralism, Cross-cultural Learning and	マキユアン大学准教授		
Domestic Cooperative Internationalism	Chaldeans MENSAH		
A Wonderful Experience in Japan for the German Joint Delegations from	エアフルト大学 Sarah DURYEY /		
Erfurt and North Rhine-Westphalia	Thomas WEILER		
Improving the Interactions of English as a Lingua Franca (ELF) Users and	教授 立木 ドナ		
Native Speakers of English			
Diversity as a Catalyst for Competency Development through Model United	ウエストファーレン大学		
Nations Classes	Andreas MÜGLICH / Anna SEIDEL		
Model UN Class at University of Trier and Erfurt, Germany	トリーア大学 Ronny HEINZE		

■ 研究叢書 (2012~2017 年度)

発行年月	号数	タイトル	執筆者
2013年3月	第51冊	永遠回帰の思想 九鬼周造の時間論	教授 小浜 善信
2013年3月	第52冊	韻書と等韻図 I	教授 太田 斎
2014年3月	第53冊	El español y el japonés	教授 福嶋 教隆
2014年3月	第54冊	The Spirit of No Place Reportage, Translation and Re-told Stories in Lafcadio Hearn	教授 難波江 仁美
2015年3月	第55冊	信仰と法規制 アメリカ法の議論から	准教授 山口 智
2015年3月	第56冊	授業談話を変えるアクティビティ開発: 教師が手作りする授業	講師 三野宮 春子
2016年3月	第57冊	チベット語文法研究	教授 武内 紹人
2016年3月	第58冊	国際商取引における Soft Law	教授 中村 嘉孝
2016年12月	第59冊	周法高『中國語文研究』訳注	教授 太田 斎
2017年12月	第60冊	『一百條』・『清文指要』対照本(I)本文篇	教授 竹越 孝

3-3 研究支援事業

専任教員の研究活動を促進することを目的として、学内研究支援事業を行っている。

Research Project A (共同研究・研究交流を支援する)

採択年度	申請者	研究課題	研究期間
2014年度	准教授 L.Nishide	Japan International Negotiation Project	4年
2015年度			
2016年度			
2017年度			
2018年度	教授 立木ドナ	Building the MUNSELF Corpus	4年
2019年度			
2020年度			
2021年度			

Research Project B (研究会・討論会の開催を支援する)

採択年度	申請者	研究課題	研究期間
2014年度	教授 太田 斎	アジア諸言語の通時的・共時的研究	2年
2015年度			
2016年度	准教授 津守 陽	20世紀東アジア:越境する文学形式と思考の流動	3年
2017年度			
2018年度			

Research Project C (科学研究費に申請し採択に至らなかった研究を支援する)

採択年度	申請者	研究課題	研究期間
2014年度	教授 指 昭博	イギリス宗教改革と「プロテスタント国家」の再検討	1年
2015年度	准教授 星野 徳子	第3言語学習者の言語コントロールに関する横断的・縦断的研究	1年
2016年度	准教授 星野 徳子	バイリンガルの語彙・文産出メカニズムに関する認知神経科学的手法による比較研究	1年
2017年度	応募なし		
2018年度	准教授 Lori Zenuk Nishide	A Genre Analysis Approach to Negotiated Resolution Writing for Model United Nations	1年

国際会議・セミナー等開催支援

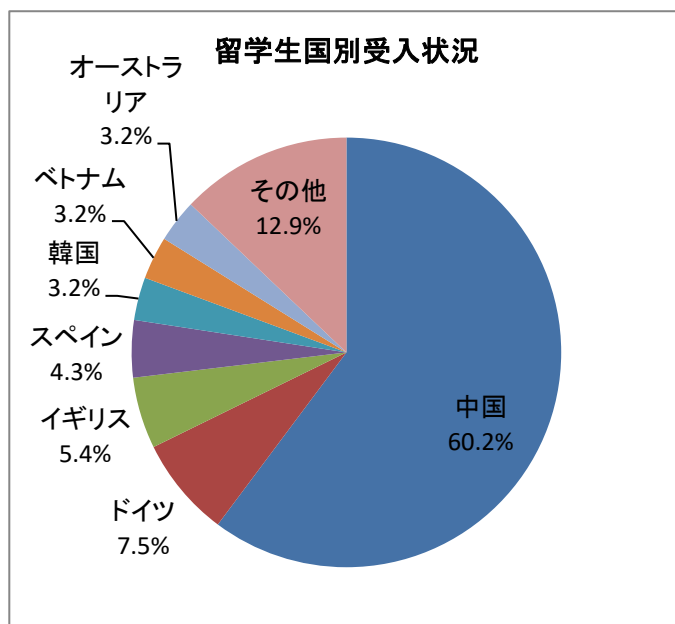
採択年度	申請者	会議等名称	会議実施日
2014年度	教授 玉井 健	KCUFS Reflective Practice Conference 2014	2014/8/28-30
2015年度	教授 金子 百合子	現代スラヴ・アспект研究の動向	2015/11/16
	教授 立木ドナ	JALT PAN-SIG Conference	2015/5/16-17
2016年度	教授 吉川 朗子	ワーズワスと芭蕉:歩く詩人—21世紀における自然の価値	2016/10/29-30
2017年度	准教授 Lori Zenuk Nishide	Global Negotiation Symposium	2017/6/23-25

4 国際交流

4-1 留学状況

■留学生の受け入れ（2017年5月1日現在）

国・地域	学部生	（日本語プログラム） 交流留学生	大学院生（修士課程）	大学院生（博士課程）	研究生	外国人研究生	合計
中国	2	2	24	15		13	56
ドイツ		7					7
イギリス		5					5
スペイン		3				1	4
韓国	1	1		1			3
ベトナム			3				3
オーストラリア			3				3
イタリア		2					2
ロシア		1				1	2
アメリカ		2					2
カナダ		2					2
タイ						1	1
スウェーデン	1						1
ノルウェー						1	1
フランス		1					1
合計	4	26	30	16	0	17	93



■学生の海外留学等状況

【交換留学（2012～2017年度）】

国名	留学先	2012	2013	2014	2015	2016	2017
アメリカ	イースタン・ワシントン大学	2	2	1			
	オーガスタナ大学	3	3	2	3	2	2
イギリス	ニューカッスル大学				2	2	2
	ヨークセントジョン大学					3	2
イタリア	ローマ大学サピエンツァ			1	1		
カナダ	メディシンハット大学	1	1	1	1		1
	レジャイナ大学	2	2	2	2	2	2
ドイツ	デュースブルグ・エッセン大学		3	3	1	4	4
	ミュンヘン大学				2	2	2
ロシア	クバン国立大学					2	2
	ウラル連邦大学					1	1
	太平洋国立大学						2
中国	天津外国語大学	1	1	1	1	1	1
	東北師範大学					2	2
	北京語言大学					2	2
スペイン	サラマンカ大学		1	2	2	2	2
	サラゴサ大学				2	2	2
	マドリッド自治大学				1		1
交換留学合計		9	13	13	18	27	30

【長期派遣(認定)留学(2012~2017年度)】

国名	留学先	2012	2013	2014	2015	2016	2017
アメリカ	アパラチアン州立大学			1			
	アメリカン大学					1	
	イースタンワシントン大学	3	4	3	1	5	2
	エヴァンスビル大学				1		
	エルマイラ大学	1		2	1*		
	オレゴン大学	1					
	カリフォルニア州立大学			2			
	キャロルカレッジ					1	
	クラリオン大学				1		
	コーネル大学				1		
	サザン・オレゴン大学		1				
	ニューヨーク州立大学バッファロー校		1				
	ニューヨーク州立大学オールバニ						1
	カリフォルニア州立大学チコ校						1
	リンデンウッド大学ベレヴィル						1
	ハワイ大学						1
ミネソタ州立大学		2	2				
イギリス	ノーサンブリア大学		1				
	ミドルセックス大学		1				
	ランカスター大学				1		
	リーズ大学	1	1	2	5	2	4
	ブリストル大学						1
	エジンバラ大学				1		
オーストラリア	サザンクロス大学				1	2	1
	ディーキン大学			1			
	マッコーリー大学				1		
カナダ	バンクーバー・アイランド大学		1	1	1	1	
	メディシンハット大学	1	1	4	1	1	3
	レジャイナ大学			2	1	1	
	ヴィクトリア大学					1	
フィンランド	ヘルシンキ大学		1				
フランス	リヨン第三大学					1	
ロシア	サンクト・ペテルブルク大学	1	5	1	1	2	3
	国立プーシキン記念ロシア語大学	1		2	1	1	2
	モスクワ国立大学	3	2	5	3	4	3
	クバン国立大学			1			1
	ウラル連邦大学			1		1	
	太平洋国立大学			2	1		1
	カザン大学						1
	リャザン国立大学						1
	ロバチェフスキー州立大学 ニジノヴゴロド						1
	ハバロフスク国立教育大学		1				
モスクワ国際関係大学					1		
ベラルーシ	ベラルーシ国立大学				1		
中国	清華大学		1				
	大連海事大学	1					
	東北師範大学	1		1	1		2
	復旦大学			2	7	4	5
	上海交通大学			1			
	上海師範大学			1	2	1	2
	天津外国語大学			1			
	南京師範大学			1			
	北京外国語大学		1				
	北京第二外国語学院		1				
	北京語言大学	4	2	1	4	1	5
	北京師範大学		1	2			
	北京大学		1				
	北京航空航天大学		1				
	中山大学				1		
香港大学		1					

台湾	国立台湾大学			1			
	国立成功大学				1		
	国立政治大学				1	1	
スペイン	アルカラ大学	1	1	1		1	1
	オルテガ・イ・ガセット国際教育センター			1		1	1
	国立通信教育大学	2	2				2
	サラマンカ大学		1		1	3	1
	サンティアゴ・デ・コンポステラ大学			2			1
	バルセロナ大学	1					
	ラ・リオハ大学			2		2	
	サラゴサ大学					1	
	バリアドリッド大学					1	
	マラガ大学						1
メキシコ	メキシコ国立自治大学					1	
コロンビア	国立コロンビア大学			1			
長期派遣(認定)留学合計		22	35	50	41	43	49

【スペイン語圏派遣留学 (2012～2017 年度)】

国名	留学先	2012	2013	2014	2015	2016	2017
スペイン	アルカラ大学		1	2	1	2	
	オルテガ・イ・ガセット国際教育センター	4	1		1	1	1
	国立通信教育大学		3				
	サラマンカ大学		1				
	サンティアゴ・デ・コンポステラ大学	1	1		1	1	
	ラ・リオハ大学	3	3	6	2	8	5
メキシコ	メキシコ国立自治大学						2
スペイン語圏派遣留学合計		8	10	8	5	12	8

【短期派遣留学 (2012～2017 年度)】

国名	留学先	2012	2013	2014	2015	2016	2017
アメリカ	UCLA Extension	11	11	9	10	7	6
オーストリア	アメリカ・インスティテュート	8	26	19	22	23	13
ロシア	モスクワ大学(夏季)	4	7	8	4	5	4
	モスクワ大学(春季)	8	0	1	2	5	5
中国	北京語言大学	3	5	10	7	9	4
スペイン	国立通信教育大学(夏季)	4	0	4	7	2	2
	国立通信教育大学(春季)	2	0	4	4	2	2
短期派遣留学合計		40	49	55	56	53	36

【休学による留学・語学研修等（2017年度実績：大学把握分）】

	大学学部・短期大学	ランゲージセンター等の 大学附属施設	民間等の語学学校	専門学校レベル	不明・その他	合計
カナダ	5	3	31	2	6	47
アメリカ合衆国	15	6	8		6	35
オーストラリア	2	4	20	2		28
フィリピン		2	11			13
中国(マカオを含む)	8	4			1	13
英国	2	2	8			12
スペイン	1	6	3			10
アイルランド		2	4			6
ニュージーランド		1	4	1		6
ロシア	3	2	1			6
デンマーク	1		1		3	5
マルタ		1	2			3
ベラルーシ	2					2
ポーランド	2					2
韓国		2				2
イタリア	1					1
キルギス			1			1
ドイツ	1					1
フィジー			1			1
マレーシア			1			1
メキシコ		1				1
ラトビア					1	1
台湾		1				1
合計	43	37	96	5	17	198

【海外インターンシップ】

	2014	2015	2016	2017
city'super香港インターンシップ派遣プログラム	2	2	5	2
上海インターンシップ			7	0

【トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム】

	第1期 (2014前期)	第2期 (2014後期)	第3期 (2015前期)	第4期 (2015後期)	第5期 (2016前期)	第6期 (2016後期)	第7期 (2017前期)	第8期 (2017後期)
トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム	1	0	1	4	1	0	3	1

4-2 国際交流協定

■学生・教員の交流協定締結機関

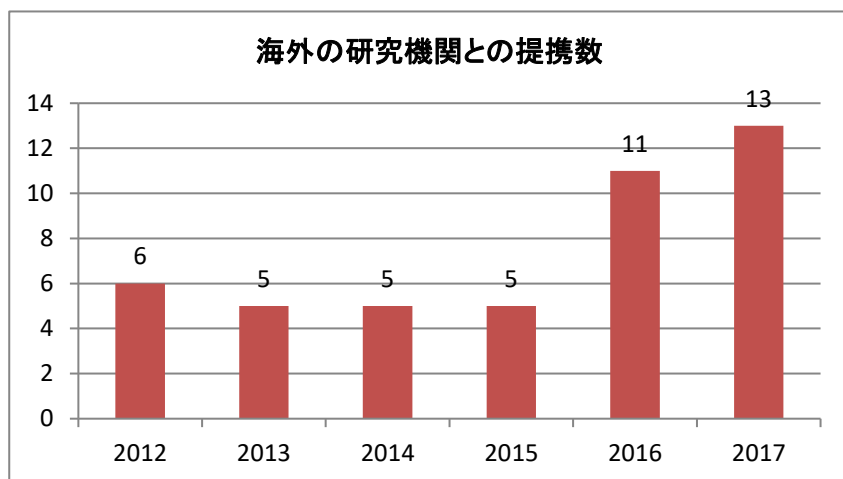
計 11 カ国 38 大学等

★は 14 年度、☆は 15 年度、※は 16 年度の新規提携

国名	大学名	初回締結	学生交換	長期派遣	短期派遣	教員交換
アメリカ	イースタン・ワシントン大学	1981.12	若干名	○		
	エルマイラ大学（ダブルディグリー）	2001.5		○		
	オーガスタナ大学	2011.8	若干名	○		
	UCLA Extension	2009.3			○	
イギリス	ノーサンブリア大学	2011.11		○		
	ランカスター大学	2001.7		○		
	リーズ大学	2007.9		○		
	★ニューカッスル大学	2014.7	2名	○		
	☆ヨークセントジョン大学	2015.8	2名	○		
イタリア	ローマ大学サピエンツァ	2013.5	2名			○
オーストラリア	ディーキン大学	2007.10		○		
	モナッシュ大学（ダブル・マスター）	2014.3				
	★ニューサウスウェールズ大学	2014.4		○		
	☆サザンクロス大学	2015.7		○		
オーストリア	アメリカ・インスティテュート	2010.5			○	
カナダ	メディシンハット大学	2009.11	1名	○		
	レジャイナ大学	2012.1	2名	○		
スペイン	アルカラ大学	1994.6		○		○
	オルテガ・イ・ガセット国際教育センター	1989.11		○		
	サラマンカ大学	2013.6	2名	○		
	サンティアゴ・デ・コンポステラ大学	2007.4		○		
	セゴビア市及び国立通信教育大学	2009.12		○	○	
	マドリード自治大学	2014.1	1名	○		
	ラ・リオハ大学	2007.10		○		
	★サラゴサ大学	2014.10	2名	○		
中国	上海師範大学	2012.10		○		○
	天津外国語大学	1983.7	1名	○		
	☆東北師範大学（15年度学生交換開始）	2011.12	1-2名	○		○
	復旦大学	1995.12		○		○
	☆北京語言大学（15年度学生交換開始）	2008.9	1-2名	○	○	○
ドイツ	デュースブルグ・エッセン大学	2012.6	4名			
	ルードヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン	2013.10	2名			
メキシコ	★メキシコ国立自治大学	2015.3		○		
ロシア	国立プーシキン記念ロシア語大学	2001.11		○		
	モスクワ大学ロシア語ロシア文化学院	1967		○	○	○
	☆ウラル連邦大学	2015.4	1名	○		
	☆クバン国立大学	2015.4	2名	○		
	※太平洋国立大学	2016.6	2名	○		

■海外の研究機関等との提携

国名	締結先	締結時期	備考
フランス	国立高等研究院	2008.3	
中国	青海民族大学外国語学院	2012.3	
中国	雲南民族博物館	2013.2	
タイ	マヒドン大学	2014.12	
ロシア	ウラル連邦大学	2015.4	学生・教員の交流協定に学術協力
ロシア	クバン国立大学	2015.4	(交流)に関することを含む
スイス	ベルン大学	2015.1	
スペイン	バスク大学	2016.4	2008年4月に締結した交流協定に学術協力(交流)に関することを追加
ロシア	太平洋国立大学	2016.6	学生・教員の交流協定に学術協力
カナダ	メディシンハット大学	2017.1	(交流)に関することを含む
カナダ	レジャイナ大学	2017.3	
英国	ロンドン大学東洋アフリカ研究学院(SOAS)	2018.2	
スペイン	ナヴァラ大学	2018.3	



5 地域貢献・地域連携

5-1 地域行政、団体などとの協力

2017年5月現在

【神戸市の行政、団体などとの協力（4機関）】

提携先の機関名	主な内容
神戸市教育委員会	市教委と本学教職課程及び英語教育学専攻を中心にした連携。市内の小中高校の教員研修や、児童・生徒の国際教育・交流事業（小学生の外大訪問、中学生のイングリッシュサマースクールやイングリッシュフェスティバルなど）。
（公財）神戸国際協力交流センター	市民の国際理解教育などの事業協力（神戸市国際交流フェアへの本学協力や、本学の市民対象のオープン・セミナーの三宮会場提供など）
神戸市立博物館	大学教員と博物館学芸員の連携による市民向けの講演会の共同実施など。
神戸市西区	防災・福祉・文化・教育・国際交流・地域活性化など、地域の特性に応じたきめ細かいまちづくりのための連携や、施策推進、それぞれの主催事業に対する相互の協力など。

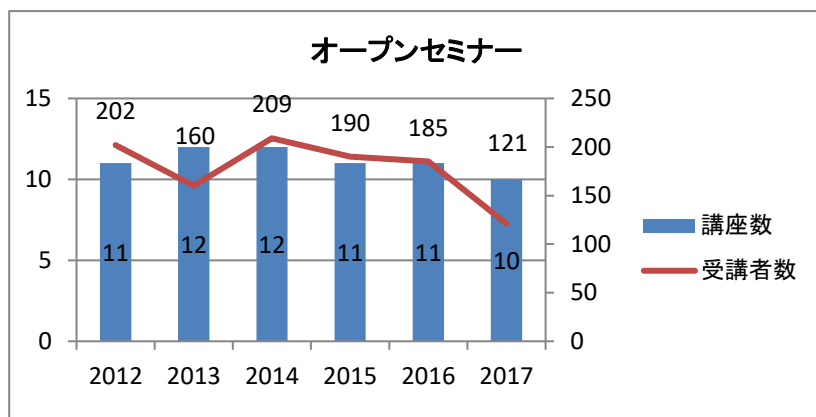
【上記以外の国内の大学との協力、大学間連携に関する連携（5機関）】

提携先の機関名	主な内容
東京外国語大学	大学院教育交流や学部の入試広報事業。
神戸大学大学院文学研究科	単位互換授業。
神戸研究学園都市大学交流推進協議会（ユニティ）	単位互換授業や共同研究、地域の市民や高校生向けの講座提供など多岐にわたる連携交流事業。
大学コンソーシアムひょうご神戸	国際交流事業などに協力。
全国外大連合	教育研究の内容に応じたさまざまな連携。学生、教員・職員及び研究者の交流を通じた教育研究の水準向上。

5-2 市民講座・公開講座等

■オープンセミナー

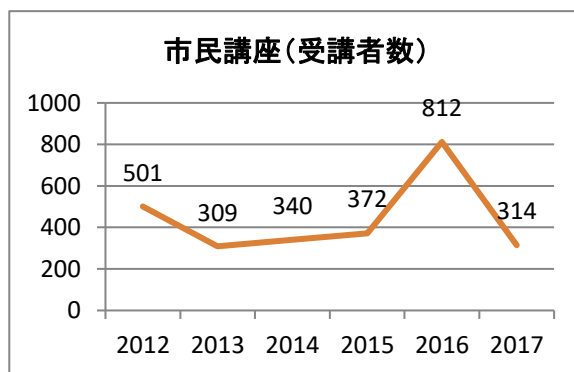
前期・後期の年2回、語学講座と教養講座を約6講座ずつ開講している。三ノ宮や神戸の会場で提供するものもある。



■市民講座

ひとつのテーマについて、8人の本学教授陣がリレー形式により講座を開講している。

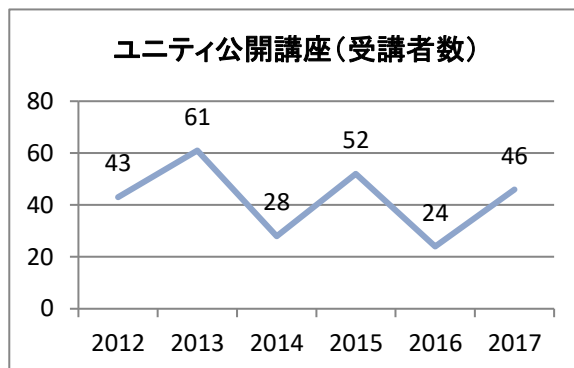
年度	テーマ
2012	Japanese and English (日本語(人)と英語) —日本人は英語をいかに学んでいくべきか—
2013	社会の中の文学 文学の中の社会
2014	漢字の国のレトリック
2015	日本社会はどこへ向うのか
2016	スペイン語で巡る世界遺産の旅
2017	不思議の国ロシアの8つの真実



■公開講座 (ユニティ)

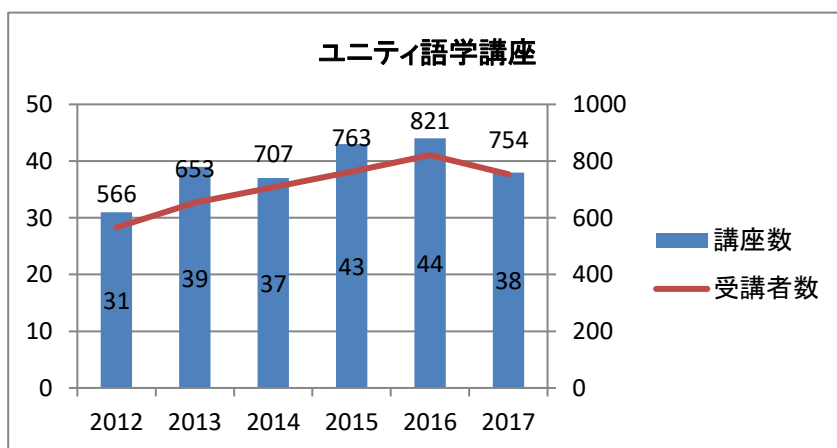
ユニティに加盟する5大学1高専が、得意とする分野をテーマに、毎年市民を対象とした講座を開講している。

年度	テーマ
2012	異文化の受容2
2013	民族の壁を越えた言語の文化の歴史 ～大言語の履歴書
2014	いま経済で何が起きているのか ～激動の現代における経済変化
2015	スペイン語圏の食文化～イベリア半島から南米まで
2016	現在中国の文学・文化・社会を知る
2017	定義と確率 ～経済学と統計学の視点～



■語学講座 (ユニティ)

本学教授や講師陣による語学講座を、毎年市民向けに数多くユニティで開講している。



※ユニティ・・・神戸の学術文化の拠点として、神戸研究学園都市周辺にある5大学1高専が、教室や会議室などを備えた大学共同利用施設「UNITY」を設置し運営している。

5-3 学生ボランティア活動

■2017年度学生ボランティア活動実績

分野	人数	内容
国際交流	406	模擬国連世界大会の企画運営、国際会議レセプションでの学生通訳など語学を活かしたもの
子どもの教育・生活	250	障がいのある子どもたちのお楽しみ会、小学校の大学訪問引率、チャリティイベント手伝い等
出演協力	58	学生サークルなどが地域のイベント等に出演
お年寄り支援	66	ボランティアコーナー学生スタッフによる活動
被災地復興支援	48	被災地に出向いての活動や古本回収・募金活動による支援
地域振興	27	地域の各種団体主催イベントへの協力
環境美化	26	スポーツゴミ拾い大会イベントの企画運営
提案・提言活動	14	市政懇談会やまちづくりシンポジウムなど地域の活性化ための会議に参加し、各種提言を行う
障がい者支援	1	近隣の障害者支援団体主催イベントに参加し交流や介助を行う
自然環境保護	1	自然環境保護イベントに参加
合計	897	

<学生の大学サポート活動>

分野	人数	内容
学生支援	125	留学生の生活や日本語学習補助など
大学環境整備	44	花壇の花植えや水遣りなど
オープンキャンパス	6	オープンキャンパスでの来訪者対応
合計	175	

<参考:有償の地域協力活動>

活動名	人数	内容
交通局職員の英会話教室	10	交通局職員のための英会話教室運営
交通局職員の中国語会話教室	3	交通局職員のための中国語会話教室運営とテキストの作成
シルバーカレッジでの交流事業(秋)	9	留学生がシルバーカレッジの受講者に異文化を紹介
垂水区 英会話カフェ	7	垂水区役所の職員に英語のレッスン
シルバーカレッジでの交流事業(冬)	5	留学生がシルバーカレッジの受講者に異文化を紹介
留学生による旅行体験記	4	留学生の視点から神戸を紹介する
兵庫高校International Day	3	高校生と留学生の交流
小中学生の学習支援	2	生活保護世帯の子どもの学習支援、進路相談
合計	43	

6 教職員

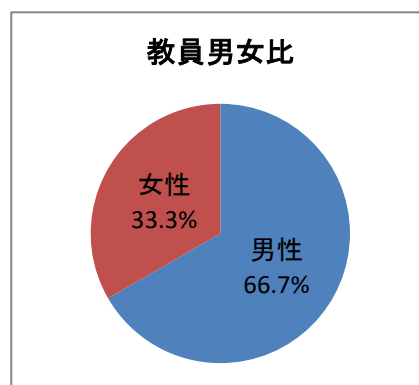
6-1 教員数

■職位別（2017年5月1日現在）

学科別	学長	教授	准教授	講師	計
英米学科		17	3	1	21
ロシア学科		3	4		7
中国学科		5	3		8
イスパニア学科		3	2	1	6
国際関係学科		7	7		14
法経商グループ		5	5		10
総合文化グループ	1	10	10		21
合計	1	50	34	2	87

■男女別（2017年5月1日現在）

学科別	男性	女性	計
英米学科	13	8	21
ロシア学科	4	3	7
中国学科	5	3	8
イスパニア学科	3	3	6
国際関係学科	8	6	14
法経商グループ	10	0	10
総合文化グループ	15	6	21
合計	58	29	87



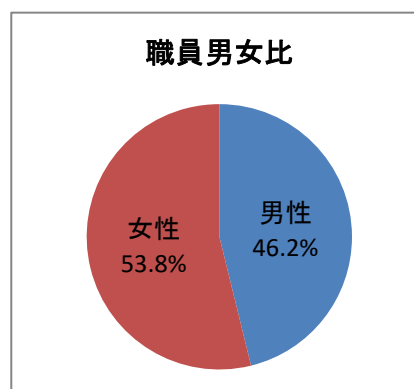
■外国人及び外国の大学で学位を取得した専任教員等の割合（2017年5月1日現在）

	人数	割合
全教員	87人	
①外国籍の教員	14人	16.1%
②外国の大学で学位を取得した日本人教員	22人	25.3%
③外国で通算1年以上(3年未満)の教育研究歴がある日本人教員	21人	24.1%
④外国で通算3年以上の教育研究歴のある日本人教員	2人	2.3%
①～④の合計	59人	67.8%

6-2 職員数

■所属別・男女別（2017年5月1日現在）

所属	男性	女性	計
経営企画G	19	7	26
学生支援・教育G	9	17	26
研究所G	4	10	14
学術情報センターG	4	8	12
合計	36	42	78



7 財務状況

■財務状況の推移

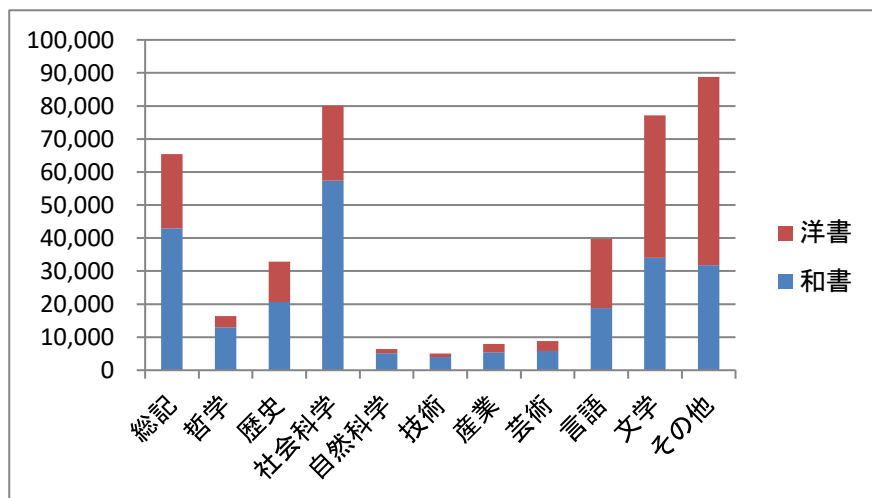
(単位：百万円)

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
経常費用	2,451	2,278	2,263	2,341	2,457	2,438
業務費	2,255	2,078	2,012	2,138	2,258	2,183
教育経費	195	249	209	233	242	230
研究経費	96	86	62	65	59	60
教育研究支援経費	75	100	82	89	99	83
受託事業費	1	0	3	0	0	0
人件費	1,888	1,643	1,656	1,751	1,858	1,810
一般管理費	195	199	249	200	196	253
財務費用	1	1	2	2	2	1
経常収益	2,512	2,382	2,320	2,382	2,491	2,485
運営費交付金収益	1,253	1,115	1,030	1,072	1,155	1,162
学生納付金収益	1,125	1,127	1,146	1,162	1,165	1,168
授業料収益	912	911	926	951	950	955
入学金収益	176	183	183	181	178	182
検定料収益	37	34	37	30	38	31
受託事業等収益	1	0	3	0	0	0
補助金等収益	-	-	-	-	0	0
寄付金収益	5	14	8	14	25	9
資産見返負債戻入	91	84	89	88	90	82
その他の収益	37	41	44	46	56	63
経常利益(損失)	61	104	57	41	35	47
臨時損失	-	0	-	-	-	-
臨時利益	34	0	0	0	-	-
当期純利益(損失)	95	104	57	41	35	47
前中期目標期間繰越積立金取崩額	-	-	10	10	14	14
目的積立金取崩額	-	-	-	-	3	9
当期総利益(損失)	95	104	67	51	51	70

※四捨五入により合計が合わない場合があります。

8 図書館

■蔵書冊数：428,586冊（和書：238,924冊 / 洋書：189,662冊）



■図書館利用状況（2012～2017年度）

	2012	2013	2014	2015	2016	2017
入館者数(人)	160,845	163,727	165,601	176,062	166,208	157,350
貸出冊数(冊)	42,306	42,933	45,327	44,110	42,031	44,625

2017年度入館者数（内訳：人）

区分	学部生	大学院生	教職員	卒業生	市民	合計
入館者数	129,983	6,398	14,618	1,330	5,021	157,350

2017年度貸出冊数（内訳：冊）

区分	学部生	大学院生	教職員	卒業生	市民	合計
貸出冊数	30,442	3,654	4,598	862	5,069	44,625

2017年度市民利用制度利用状況

	日数	登録者数	入館者数	貸出冊数
市民利用状況	212	278	5,021	5,069